

資料2

令和5年2月27日

茅ヶ崎市住まいづくり推進委員会

# 住宅・住環境に関する市民アンケート調査結果 (速報)

令和5年2月

# 目次

1	調査の目的・方法等.....	1
	（1）調査の目的.....	1
	（2）調査の方法等.....	1
	（3）設問の視点及び調査の方針.....	2
	〈アンケート調査票〉.....	4
2	市民アンケート調査結果の集計・分析.....	10
	（1）回答者の属性.....	10
	（2）住まいと周辺環境の評価.....	11
	（3）ライフステージの変化への対応.....	17
	（4）住まいの防災対策・環境対策.....	23
	（5）空き家の発生予防.....	25
	（6）住宅・住環境施策への期待.....	27

# 1 調査の目的・方法等

## (1) 調査の目的

本市では、今後の住宅政策を推進するための指針である「茅ヶ崎市住まいづくりアクションプラン」の改定に先立ち、18歳以上の市民の方々（無作為に抽出）を対象にアンケート調査を実施しました。

本アンケート調査は、市民の住宅や住環境に対する評価、今後の住生活に関する意向などを把握することを目的として実施します。

## (2) 調査の方法等

調査の方法等を以下のとおり設定します。

### ○調査対象、調査票配布数

一般市民 : 2,000人（18歳以上年代別男女同数）

### ○調査方法

【回答方法1】調査票に答えを記入して郵便で返送する方法

（郵送により調査票を配布し、同封した返信用封筒により回収）

【回答方法2】パソコンまたはスマートフォンを使って答える方法

（パソコンで「茅ヶ崎市電子申請システム」の手続き一覧から回答フォームにアクセスする方法、もしくはスマートフォンで二次元コードを読み取って回答フォームにアクセスする方法のいずれかを選択し回答）

調査期間 : 令和4年11月1日 ~ 11月25日

記入方式 : 無記名回答方式

### ○調査票の回収結果（令和4年12月12日時点）

回収数 : 769件

【回答方法1】583件

【回答方法2】186件

回収率 : 38.5%

### (3) 設問の視点及び調査の方針

住宅・住環境に関する市民アンケート調査は、以下の設問の視点および調査実施の方針調査項目に基づき実施しました。（調査票は4～9ページ参照。）

調査内容		設問の視点 (設問根拠または背景にある法改正の動向等)	調査実施の方針 (調査結果として想定する施策課題等)
<b>I あなたとご家族などについておたずねします</b>			
01	年齢	-	集計分析上の属性として、他設問とのクロス集計により傾向分析を行います。 (年齢、家族構成、住宅種類のクロス集計により住宅困窮世帯についても類推します。)
02	世帯人数	-	同上
03	家族構成	-	同上
04	居住地域	-	同上
<b>II 住まいと周辺環境の評価についておたずねします</b>			
05	住まいの種類	「住宅・土地統計調査」(総務省統計局)の設問区分を参考に独自設定	集計分析上の属性として、他設問とのクロス集計により傾向分析を行います。 (年齢、家族構成、住宅種類のクロス集計により住宅困窮世帯についても類推します。)
06	住まいの建築時期	同上	同上
07	住まいの評価	「住生活基本計画(全国計画)」の別紙に掲げる「住宅性能水準」等および「平成30年住生活総合調査」(国土交通省住宅局)を参考に独自設定	居住地域、住まいの種類や建築時期とのクロス集計により既存ストックの抱える課題について傾向分析を行います。(回答者全数と住宅困窮世帯(類推)による評価結果を対比的に分析します。)
08	周辺環境の評価	同上	同上
<b>III ライフステージの変化への対応についておたずねします</b>			
09	子育て期における住まいや周辺環境の条件	「住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の供給の促進に関する法律」(平成19年法律第112号、(改正)平成29年法律第24号) 「神奈川県住生活基本計画」、「茅ヶ崎市総合計画」をはじめとする上位・関連計画	住宅セーフティネットの観点も含め、ライフステージの変化に応じた住宅・住環境の必要性(子育て世代の居住支援、高齢者等の居住安定化等)について調査を実施します。
10	高齢期における住まいや周辺環境の条件	同上	同上

11	現在の住まいでの居住継続意向	「住宅の質の向上及び円滑な取引環境の整備のための長期優良住宅の普及の促進に関する法律等の一部を改正する法律」(令和3年法律第48号)	既存住宅の質を向上させるとともに、ライフステージの変化に応じて安心して住み替えられる仕組み(住宅循環システム)を模索する観点から、市民の住み替え意向および住み替えの際の条件等の把握を行います。
12	住み替えを考える時期	同上	同上
13	住み替えの際に住まいを選ぶ条件	同上	同上
14	住み替え先として希望する地域	同上	同上
15	住み替え先として希望する住宅の種類	同上	同上
<b>IV 住まいの防災対策、環境対策についておたずねします</b>			
16	防災対策として重視する取組	「強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法」(平成25年法律第95号) 「神奈川県住生活基本計画」、「茅ヶ崎市総合計画」をはじめとする上位・関連計画	住まいに関する防災・減災対策を促進する観点から、災害リスクに対応した住まいづくり、ハザードエリアにおける対策等の可能性について調査を実施します。
17	環境対策として重視する取組	「脱炭素社会の実現に資するための建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律」(平成27年法律第53号、(改正)令和4年法律第69号) 「神奈川県住生活基本計画」、「茅ヶ崎市総合計画」をはじめとする上位・関連計画	住まいに関する環境対策を促進し脱炭素社会の実現に資する観点から、住まいの断熱化対策、省エネルギーの普及等の可能性について調査を実施します。
<b>V 空き家の発生予防の観点からおたずねします</b>			
18	持ち家の所有者	「空家等対策の推進に関する特別措置法」(平成26年法律第127号) 「神奈川県住生活基本計画」、「茅ヶ崎市総合計画」をはじめとする上位・関連計画	空き家の適正管理および空き家の発生予防を図る観点から、住まいの終活の取組や空き家発生を予防する有効活用等の可能性について調査を実施します。
19	空き家予防のための対策	同上	同上
<b>VI 住宅・住環境全般についておたずねします</b>			
20	茅ヶ崎市に期待する施策(サービス)		茅ヶ崎市が実施する住宅・住環境関係の施策(サービス)に関するニーズを把握するための調査を実施します。
21	自由記入		以上の設問に基づく統計的な集計分析とは別に、回答者の自由意見の取りまとめを行います。



# 住宅・住環境に関する市民アンケート調査

～ 茅ヶ崎市住まいづくりアクションプランの改定に向けて ～

## 《調査へのご協力をお願い》

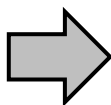
- この調査は、住まいについて感じていることをお聞きするものです。
- お答えいただいた内容は、これからの住宅施策に活かします。
- お答えいただくために必要な時間は10～15分くらいです。

心地よく、住みよいまちを目指して！

### 【回答方法1】 調査票に答えを記入して郵便で返送する

#### STEP 1

この用紙に（調査票は2ページから）にお答えを記入してください



#### STEP 2

同封した返信用封筒に入れて郵便ポストへ投函してください。

11月25日（金）  
締め切りです。

### 【回答方法2】 スマートフォンまたはパソコンを使って答える



左の二次元コードから  
回答フォームにアクセスしてください。

11月25日（金）まで  
にアクセスしてください。

→（ご注意）パソコンからアクセスする場合は、  
「茅ヶ崎市電子申請システム」の手続き一覧から回答フォームにお進みください。

[https://dshinsei.e-kanagawa.lg.jp/142077-u/offer/offerList\\_detail.action?tempSeq=41215](https://dshinsei.e-kanagawa.lg.jp/142077-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=41215)

※この調査は、18歳以上の市民を対象に、住民基本台帳から2,000人を無作為に抽出して実施しています。回答は無記名で行い、集計結果は統計的に処理いたしますので、この調査により個人が特定されることはありません。

11月25日（金）  
までに  
お答えください

#### お問い合わせ先

茅ヶ崎市 都市部 都市政策課

電話 0467-82-1111（内線 2344）

ファクシミリ 0467-57-8377

電子メール toshiseisaku@city.chigasaki.kanagawa.jp

# 住宅・住環境に関する市民アンケート調査票

## I あなたとご家族などについておたずねします

**【質問 01】** あなたの年齢は、次のうちどれですか。該当する番号を一つ選び、○を付けてください。

1. 18～29 歳	2. 30～39 歳	3. 40～49 歳
4. 50～59 歳	5. 60～64 歳	6. 65～69 歳
7. 70～74 歳	8. 75～79 歳	9. 80 歳以上

**【質問 02】** 同居する世帯（ご家族など）の、あなたを含めた人数は、次のうちどれですか。該当する番号を一つ選び、○を付けてください。

1. 1 人（自分だけ）	2. 2 人	3. 3 人
4. 4 人	5. 5 人	6. 6 人以上

**【質問 03】** 世帯の構成（家族構成など）は、次のうちどれですか。該当する番号を一つ選び、○を付けてください。（※子どもは、最年少の年齢でお答えください。）

1. 単身世帯（ひとり暮らし）	2. 夫婦のみ世帯
3. 夫婦と子ども（未就学児）の世帯	4. 夫婦と子ども（小学生以上中学生以下）の世帯
5. 夫婦と子ども（16 歳以上）の世帯	6. ひとり親と子ども（未婚）の世帯
7. その他（記入欄： _____）	

**【質問 04】** お住まいの地区は次のうちどれですか。該当する番号を一つ選び、○を付けてください。

地域名	お住まいの地区の住居表示（町丁・字名）
南東部地域	1. 旭が丘 2. 幸町 3. 汐見台 4. 白浜町 5. 出口町 6. 常盤町 7. 浜須賀 8. 浜竹 1～4 丁目 9. 東海岸北 1～5 丁目 10. 東海岸南 1～6 丁目 11. 菱沼海岸 12. ひばりが丘 13. 富士見町 14. 平和町 15. 松が丘 1・2 丁目 16. 松浪 1・2 丁目 17. 美住町 18. 緑が浜 19. 若松町
南西部地域	1. 共恵 1・2 丁目 2. 中海岸 1～4 丁目 3. 中島 4. 南湖 2～7 丁目 5. 松尾 6. 浜見平 7. 柳島 8. 柳島 1・2 丁目 9. 柳島海岸
西部地域	1. 今宿 2. 円蔵 3. 下町屋 1～3 丁目 4. 十間坂 1～3 丁目 5. 新栄町 6. 茅ヶ崎 1～3 丁目 7. 南湖 1 丁目 8. 西久保 9. 萩園 10. 浜之郷 11. 平太夫新田 12. 元町 13. 矢畑
東部地域	1. 赤松町 2. 円蔵 1・2 丁目 3. 小桜町 4. 小和田 1～3 丁目 5. 松林 1～3 丁目 6. 代官町 7. 高田 1～5 丁目 8. 茅ヶ崎 9. 鶴が台 10. 菱沼 1～3 丁目 11. 本宿町 12. 本村 1～5 丁目 13. 室田 1～3 丁目
北部地域	1. 赤羽根 2. 甘沼 3. 香川 1～7 丁目 4. 下寺尾 5. 芹沢 6. 堤 7. 行谷 8. 松風台 9. みずき 1～4 丁目

## II 住まいと周辺環境の評価についておたずねします

**【質問 05】** お住まいの住宅の種類は、次のうちどれですか。該当する番号を一つ選び、○を付けてください。

1. 持ち家（一戸建て）	2. 持ち家（分譲マンション）
3. 民間賃貸住宅（一戸建て）	4. 民間賃貸住宅（マンション、アパート等）
5. UR の公共賃貸住宅	6. 市営・県営の公営住宅
7. わからない	8. その他（記入欄： _____）

**【質問 06】** お住まいの住宅が建築された時期は、次のうちどれですか。該当する番号を一つ選び、○を付けてください。（※賃貸住宅については確認できる範囲でお答えください。）

1. 昭和 45 年(1970 年)以前	2. 昭和 46 年(1971 年)～昭和 55 年(1980 年)
3. 昭和 56 年(1981 年)～平成 2 年(1990 年)	4. 平成 3 年(1991 年)～平成 12 年(2000 年)
5. 平成 13 年(2001 年)～平成 22 年(2010 年)	6. 平成 23 年(2011 年)～平成 30 年(2018 年)
7. 令和元年(2019 年)～令和 4 年(2022 年)	8. わからない
9. その他（記入欄： _____）	

**【質問 07】** お住まいの建物についてどのように評価しますか。住まいの評価項目（全 10 項目）それぞれについて、あなたの満足度に該当する番号を一つ選び、○を付けてください。

住まいの評価項目（①～⑩それぞれお答えください）	満足	ほぼ満足	どちらとも いえない	やや不満	不満
①住宅の広さ・間取り	1	2	3	4	5
②台所や浴室の設備の充実・老朽度など	1	2	3	4	5
③生活安全性（手すりなどの設置や段差解消）	1	2	3	4	5
④遮音性（音がもれにくい）	1	2	3	4	5
⑤断熱性（冷暖房の効率性）	1	2	3	4	5
⑥耐震性（地震に対する強さ）	1	2	3	4	5
⑦防災性（水害や台風などに対する安全性）	1	2	3	4	5
⑧環境性能（省エネ化や再生エネルギー利用など）	1	2	3	4	5
⑨住宅ローンや家賃の負担	1	2	3	4	5
⑩住まい全体の総合的な評価	1	2	3	4	5

**【質問 08】** お住まいの周辺環境についてどのように評価しますか。周辺環境の評価項目（全 10 項目）それぞれについて、あなたの満足度に該当する番号を一つ選び、○を付けてください。

周辺環境の評価項目（①～⑩それぞれお答えください）	満足	ほぼ満足	どちらとも いえない	やや不満	不満
①買い物などの日常生活の利便性	1	2	3	4	5
②医療施設の充実	1	2	3	4	5
③保育園や介護施設など福祉施設の充実	1	2	3	4	5
④公園や子供の遊び場の整備	1	2	3	4	5
⑤公共交通機関の利便性	1	2	3	4	5
⑥周辺道路の安全性・快適性	1	2	3	4	5
⑦自然環境の豊かさ、景観の美しさ	1	2	3	4	5
⑧地震に強い地盤、水害を防ぐ標高の確保	1	2	3	4	5
⑨災害時の避難路や避難場所の確保	1	2	3	4	5
⑩周辺環境全体の総合的な評価	1	2	3	4	5



### Ⅲ ライフステージの変化への対応についておたずねします

**【質問 09】** 子育て期において（成長する子どもや子育てする親として）、住まいや周辺環境の条件として何を重視しますか。該当する番号を二つ以内で選び、○を付けてください。（※子育て期に当てはまらない方も、ご意見としてお答えください。）

- |                         |                         |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 保育のための施設・サービスの充実     | 2. 子育て世代が交流できる施設・活動の充実  |
| 3. 教育機会を提供する施設・サービスの充実  | 4. 子どもを育むコミュニティ施設・活動の充実 |
| 5. 子どもの安全や防犯に配慮した住環境の整備 | 6. 子育て世帯向け住居の確保         |
| 7. 若い子育て夫婦の住居費負担の軽減     | 8. 三世代の同居や近居を支援する取組     |
| 9. 子どもの成長に応じた住み替えの支援    |                         |
| 10. その他（記入欄： _____）     |                         |

**【質問 10】** 高齢期において（お年寄りやそのご家族として）、住まいや周辺環境の条件として何を重視しますか。該当する番号を二つ以内で選び、○を付けてください。（※高齢期に当てはまらない方も、ご意見としてお答えください。）

- |                         |                         |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 保健や介護のための施設・サービスの充実  | 2. 多世代が交流できる施設・活動の充実    |
| 3. 学習・就労機会を提供する施設・活動の充実 | 4. 自立した生活を支援する施設・活動の充実  |
| 5. バリアフリーなど人にやさしい住環境の整備 | 6. 介護を必要とする方が求める住まいの確保  |
| 7. 住宅の確保が困難な高齢者等のための支援  | 8. 高齢者に配慮した住み替えの支援      |
| 9. 体力の低下等に備えた住宅リフォームの実施 | 10. 気候変動や健康寿命に配慮した住みづくり |
| 11. 高齢者を地域で見守る体制の強化     |                         |
| 12. その他（記入欄： _____）     |                         |

**【質問 11】** これからも今のお住まいに住み続けたいと思いますか。該当する番号を一つ選び、○を付けてください。

- |                     |                      |
|---------------------|----------------------|
| 1. 今後も住み続けたい        | 2. 当分は住み続ける          |
| 3. いずれは住み替え（建て替え）たい | 4. 住み替える（建て替える）予定である |
| 5. その他（記入欄： _____）  |                      |

→上の **【質問 11】** で「1. 今後も住み続けたい」「2. 当分は住み続ける」「5. その他」とお答えの方は、次のページ下段の **【質問 16】** へお進みください。

**【質問 12】** **【質問 11】** で「3. いずれは住み替え（建て替え）たい」「4. 住み替える（建て替える）予定である」とお答えの方におたずねします。住み替え（建て替え）の時期として、どのようなタイミングを考えていますか。該当する番号を一つ選び、○を付けてください。

- |                        |                         |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 親元から独立するとき          | 2. 転職あるいは転勤するとき         |
| 3. 結婚するとき              | 4. 子どもが生まれたとき           |
| 5. 定年退職するとき            | 6. 子どもが独立し夫婦だけの生活になったとき |
| 7. 単身高齢者（ひとり暮らし）になったとき | 8. 高齢者住宅や老人ホーム等に入るとき    |
| 9. その他（記入欄： _____）     |                         |

**【質問 13】** **【質問 11】** で「3. いずれは住み替え（建て替え）たい」「4. 住み替える（建て替える）予定である」とお答えの方におたずねします。住み替え（建て替え）の際に、住まいを選ぶ（建てる）条件として何を重視しますか。該当する番号を三つ以内で選び、○を付けてください。

- |                         |                          |
|-------------------------|--------------------------|
| 1. 毎月の家賃負担が軽いこと         | 2. 住宅価格や管理費などが適切であること    |
| 3. 間取りや面積が希望に合っていること    | 4. 築年数が経っていない新しい物件であること  |
| 5. 子どもの成長に見合った物件であること   | 6. 高齢者・障がい者が住みやすい物件であること |
| 7. 通勤・通学に便利であること        | 8. 家族（親元）から近い距離にあること     |
| 9. 住まいも周辺環境も災害リスクが少ないこと | 10. 防犯設備やセキュリティー機器があること  |
| 11. 断熱性能や省エネ性能が備わっていること | 12. 通信機器やデジタル環境が整っていること  |
| 13. その他（記入欄： _____ ）    |                          |

**【質問 14】** **【質問 11】** で「3. いずれは住み替え（建て替え）たい」「4. 住み替える（建て替える）予定である」とお答えの方におたずねします。住み替え（建て替え）先は、どちらの地域を希望しますか。該当する番号を一つ選び、○を付けてください。

- |              |                     |              |
|--------------|---------------------|--------------|
| 1. 現在地で建て替え  | 2. 市内の他の場所に転居       | 3. 市外（県内）に転居 |
| 4. 市外（県外）に転居 | 5. その他（記入欄： _____ ） |              |

**【質問 15】** **【質問 11】** で「3. いずれは住み替え（建て替え）たい」「4. 住み替える（建て替える）予定である」とお答えの方におたずねします。住み替え（建て替え）先では、どのような住宅の種類を希望しますか。該当する番号を一つ選び、○を付けてください。

- |                        |                 |
|------------------------|-----------------|
| 1. 持ち家（新築の一戸建て）        | 2. 持ち家（中古の一戸建て） |
| 3. 持ち家（分譲マンション）        | 4. 民間賃貸住宅（一戸建て） |
| 5. 民間賃貸住宅（マンション、アパート等） | 6. UR・公社の公共賃貸住宅 |
| 7. 市営・県営の公営住宅          | 8. わからない        |
| 9. その他（記入欄： _____ ）    |                 |

## IV 住まいの防災対策、環境対策についておたずねします

**【質問 16】** 住まいの防災対策として、重視する取組（住み替えや建て替え時等に検討したい取組）はありますか。該当する全ての番号を選んで、○を付けてください。（いくつ選んでも結構です。）

- |                           |                       |
|---------------------------|-----------------------|
| 1. 地震に備えた住宅の耐震診断、耐震改修     | 2. 風水害に備えた住宅補強もしくは移転  |
| 3. 土砂災害に備えた住宅補強もしくは移転     | 4. 災害に備えた非常時電源や物資等の確保 |
| 5. 在宅避難（水害時 2～3 階への避難）の準備 | 6. ハザードマップ等に基づく避難準備   |
| 7. その他（記入欄： _____ ）       |                       |

**【質問 17】** 住まいの環境対策として、重視する取組（住み替えや建て替え時に検討したい取組）はありますか。該当する全ての番号を選んで、○を付けてください。（いくつ選んでも結構です。）

- |                          |                          |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. 風通しや日差しを考慮した住まいの設計    | 2. 断熱効果の高い天井や壁、窓などの施工    |
| 3. 太陽エネルギーの有効活用（発電、熱利用）  | 4. 県産木材を使用した住まいの建設       |
| 5. エネルギー効率の高い給湯・空調機器等の導入 | 6. 省エネ基準に適合した住宅の建設・リフォーム |
| 7. その他（記入欄： _____ ）      |                          |

## V 空き家の発生予防の観点からおたずねします

→ 2 ページの【質問 5】で「1. 持ち家（一戸建て）」「2. 持ち家（分譲マンション）」とお答えの方のみ、以下の【質問 18】へお進みください。

→ それ以外の方は、【質問 20】へお進みください。

**【質問 18】** 【質問 5】で「1. 持ち家（一戸建て）」「2. 持ち家（分譲マンション）」とお答えの方におたずねします。お住まいの住宅はどなたの所有ですか。該当する番号を一つ選び、○を付けてください。

- |                                    |                      |
|------------------------------------|----------------------|
| 1. あなたご自身が所有（ご家族と同居）               | 2. あなたご自身が所有（一人暮らし）  |
| 3. あなたと生計を共にするご家族が所有               | 4. 老人ホーム等に入所するご家族が所有 |
| 5. その他（記入欄： <input type="text"/> ） |                      |

**【質問 19】** 【質問 5】で「1. 持ち家（一戸建て）」「2. 持ち家（分譲マンション）」とお答えの方におたずねします。お住まいの住宅が将来的に空き家にならないよう、何か対策をお考えですか。該当する番号を一つ選び、○を付けてください。

- |                                    |                        |
|------------------------------------|------------------------|
| 1. しばらく住み続けるので空き家にならない             | 2. 相続して空き家にならないようにしたい  |
| 3. 相続するが空き家の状態になるかもしれない            | 4. 空き家になる前に売却・解体等を考えたい |
| 5. 空き家にしないで賃貸住宅として利用したい            | 6. 空き家になっても維持・管理に努めたい  |
| 7. どのような対策をするか家族で相談したい             | 8. 将来のことはわからない         |
| 9. その他（記入欄： <input type="text"/> ） |                        |

## VI 住宅・住環境全般についておたずねします

**【質問 20】** 今後、茅ヶ崎市が実施する住宅・住環境関係の施策（サービス）として、どのようなことに期待しますか。該当する番号を三つ以内で選び、○を付けてください。

- |                                     |                            |
|-------------------------------------|----------------------------|
| 1. 若者や子育て世代に配慮した住宅施策                | 2. 高齢者や障がい者等に配慮した住宅施策      |
| 3. 空き家の発生予防や維持管理が進む施策               | 4. 既存住宅のリフォーム、リノベーションが進む施策 |
| 5. ライフステージに応じた住み替えを支援する施策           | 6. 市外から新たな住み手を受け入れる施策      |
| 7. 住宅地としての茅ヶ崎ブランドが高まる施策             | 8. 緑や景観、街並みの魅力が高まる施策       |
| 9. 省エネ化など住宅の環境性能が高まる施策              | 10. 災害リスクへの対応力が高まる住宅施策     |
| 11. 分譲マンションの管理が適正に進む施策              | 12. 住宅確保が困難な方々を支援する施策      |
| 13. その他（記入欄： <input type="text"/> ） |                            |

**【質問 21】** さいごに、住まい・まちづくりに関するご意見などを自由にご記入ください。

自由記入欄：

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。  
11月25日（金）までに、お近くの郵便ポストへ投函してください。

## 2 市民アンケート調査結果の集計・分析

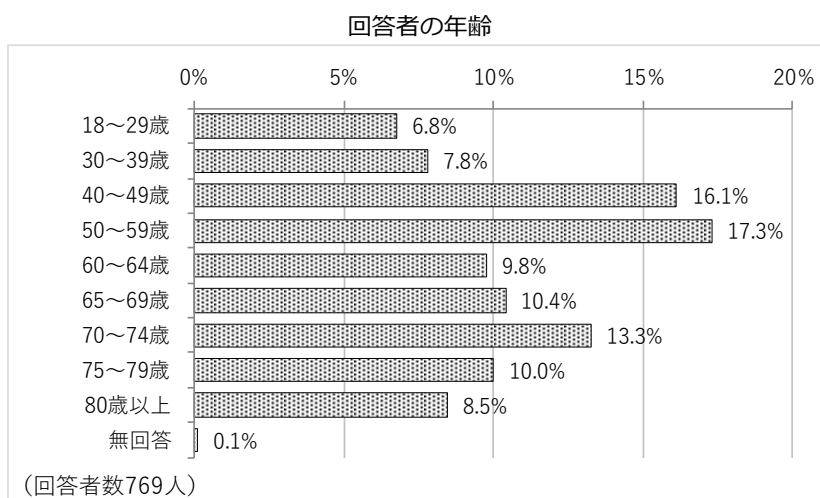
回収したアンケート調査票に基づき、集計・分析を行いました。

調査結果の分析にあたっては、設問ごとの単純集計のほか、一部設問については属性別にクロス集計を実施しました。

### (1) 回答者の属性

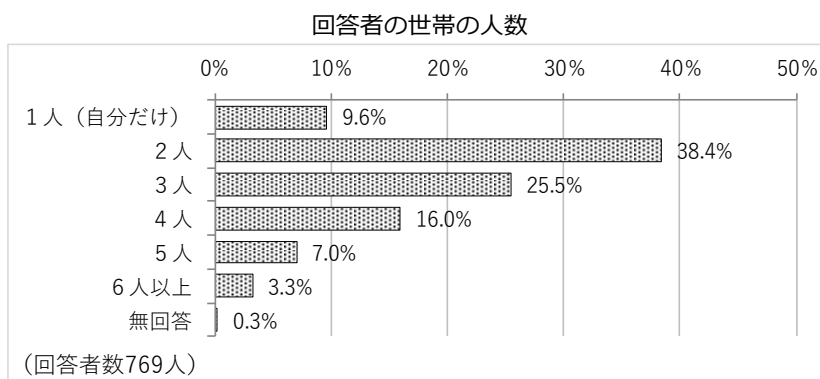
**【質問 01】** あなたの年齢は、次のうちどれですか。該当する番号を一つ選び、○を付けてください。

回答者の年齢は、「18～39歳」の若年世代が14.6%、「40～64歳」の中堅世代が43.2%、「65歳以上」の高齢世代が42.1%となっています。



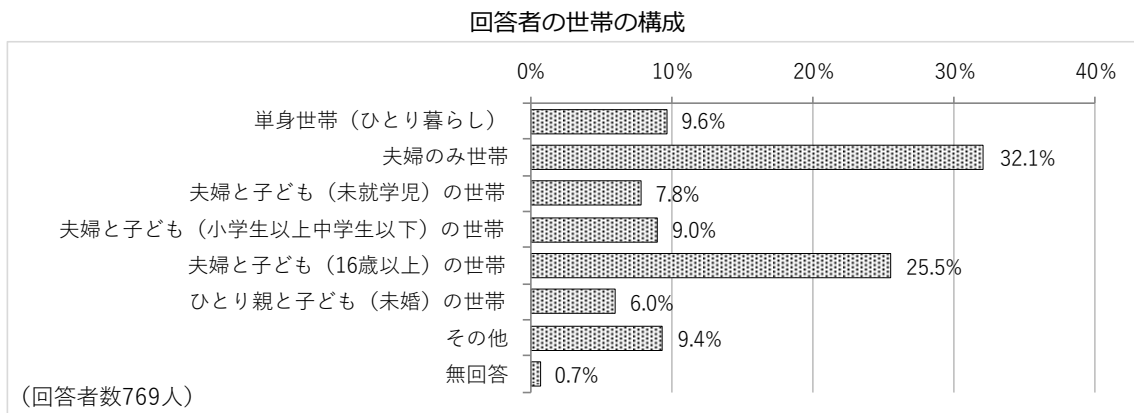
**【質問 02】** 同居する世帯（ご家族など）の、あなたを含めた人数は、次のうちどれですか。該当する番号を一つ選び、○を付けてください。

回答者の世帯の人数は、「2人」の世帯が38.4%と最も多く、次いで「3人」の世帯が25.5%、また、「1人」の世帯が9.6%となっています。



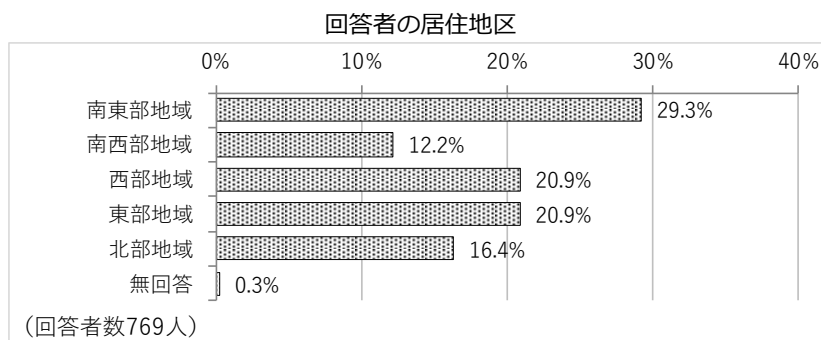
【質問 03】 世帯の構成（家族構成など）は、次のうちどれですか。該当する番号を一つ選び、○を付けてください。（※子どもは、最年少の年齢でお答えください。）

回答者の世帯の構成は、「夫婦のみ世帯」が32.1%と最も多く、次いで「夫婦と子ども(16歳以上)の世帯」が25.5%となっています。



【質問 04】 お住まいの地区は次のうちどれですか。該当する番号を一つ選び、○を付けてください。

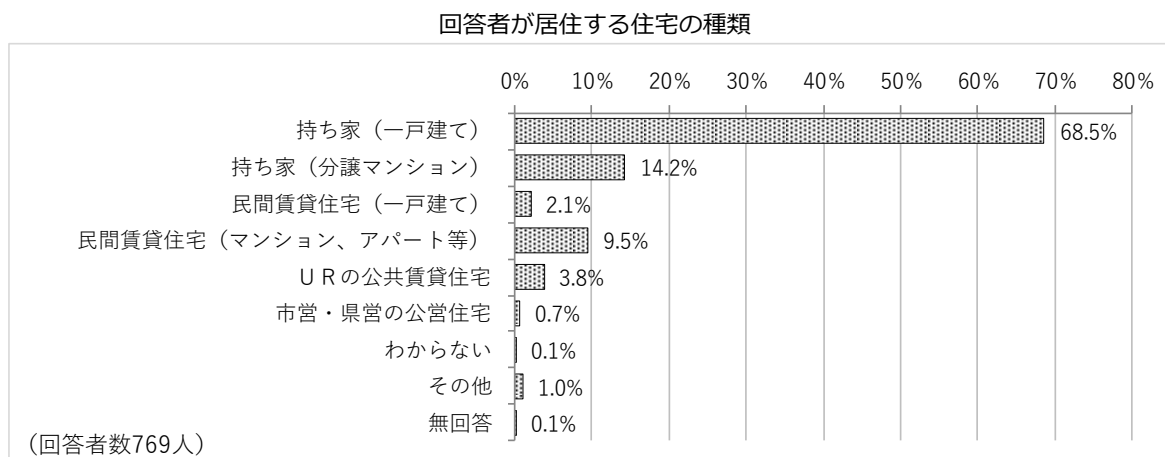
回答者の居住地は、「南東部地域」が29.3%と最も多く、次いで「西部地域」、「東部地域」がともに20.9%となっています。



## (2) 住まいと周辺環境の評価

【質問 05】 お住まいの住宅の種類は、次のうちどれですか。該当する番号を一つ選び、○を付けてください。

回答者が居住する住宅の種類は、「持ち家(一戸建て)」が68.5%と最も多く、次いで「持ち家(分譲マンション)」(14.2%)、「民間賃貸住宅(マンション、アパート等)」(9.5%)の順となっています。

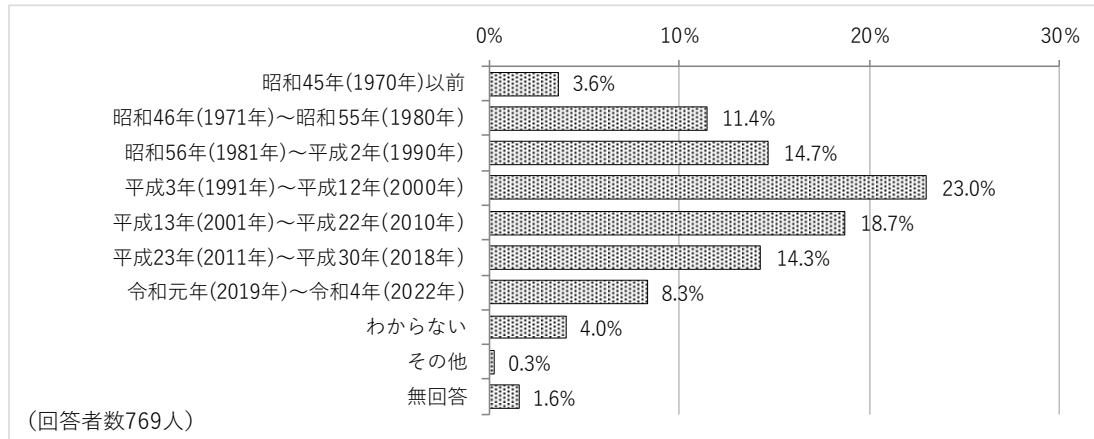


【質問 06】 お住まいの住宅が建築された時期は、次のうちどれですか。該当する番号を一つ選び、○を付けてください。（※賃貸住宅については確認できる範囲でお答えください。）

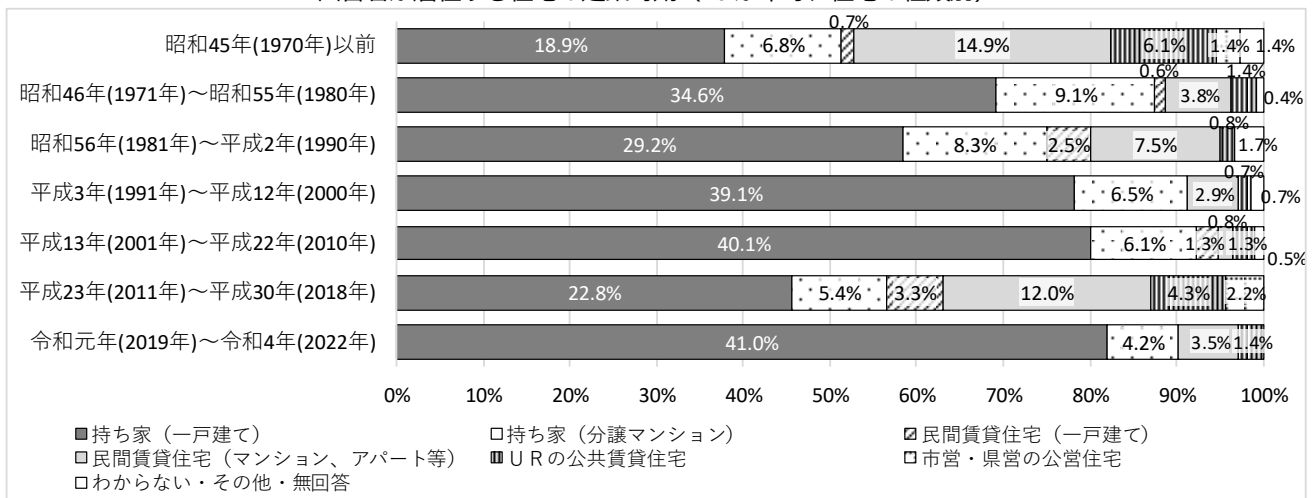
回答者が居住する住宅の建築時期は、「平成3年(1991年)～平成12年(2000年)」が23.0%と最も多く、次いで「平成13年(2001年)～平成22年(2010年)」の18.7%となっています。また、昭和55年(1980年)以前に建築された（耐震性など老朽度リスクが危惧される）住宅に居住する回答者は15.1%を占めています。

回答者が居住する住宅の建築時期別に住宅の種類をみると、建築時期が古いほど、「持ち家(分譲マンション)」と「民間賃貸住宅(マンション、アパート等)」の占める割合が多い傾向にあります。

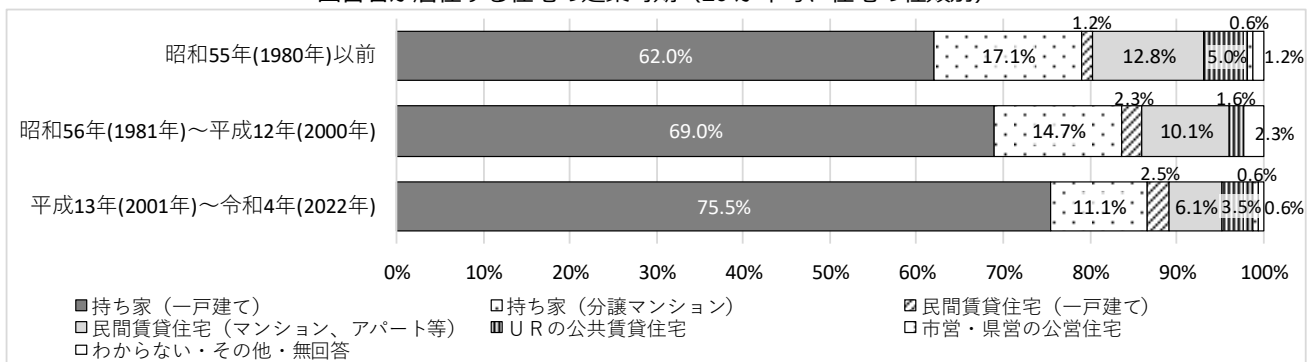
回答者が居住する住宅の建築時期



回答者が居住する住宅の建築時期（10か年毎、住宅の種類別）



回答者が居住する住宅の建築時期（20か年毎、住宅の種類別）

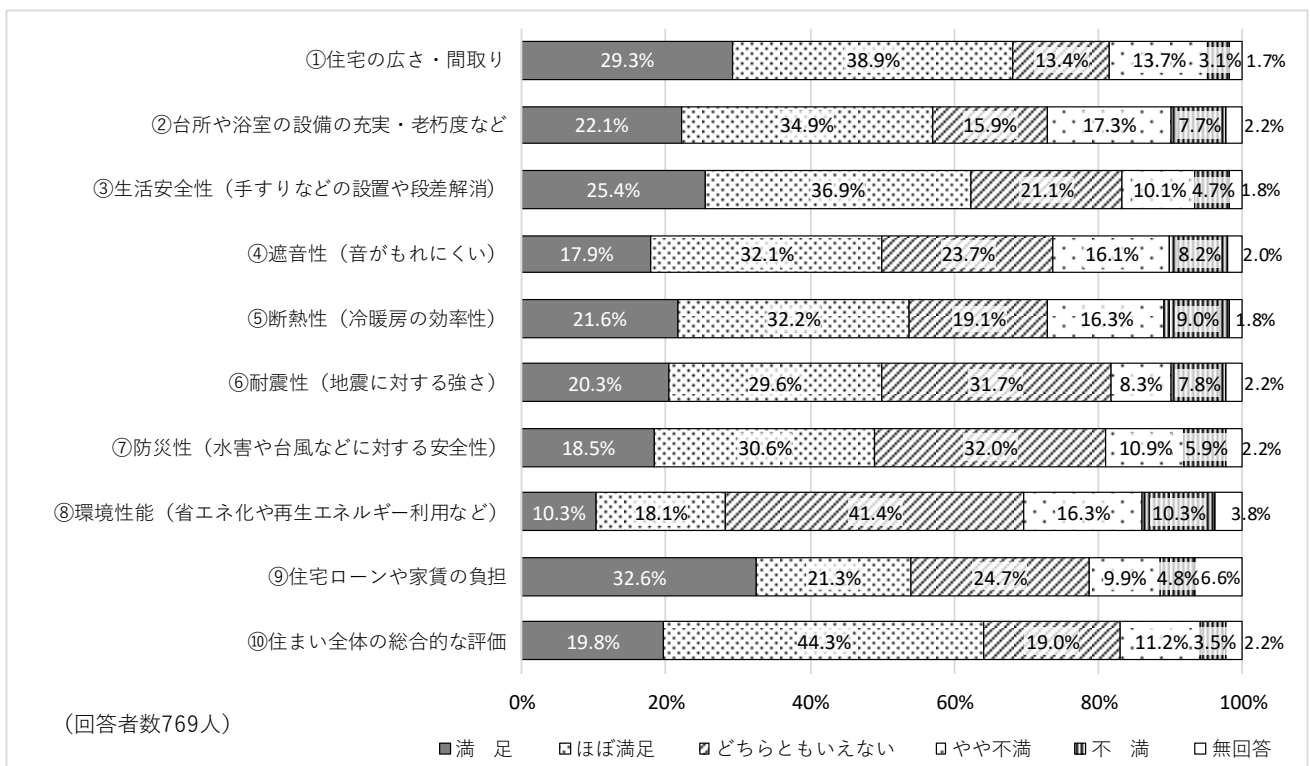


【質問 07】 お住まいの建物についてどのように評価しますか。住まいの評価項目（全 10 項目）それぞれについて、あなたの満足度に該当する番号を一つ選び、○を付けてください。

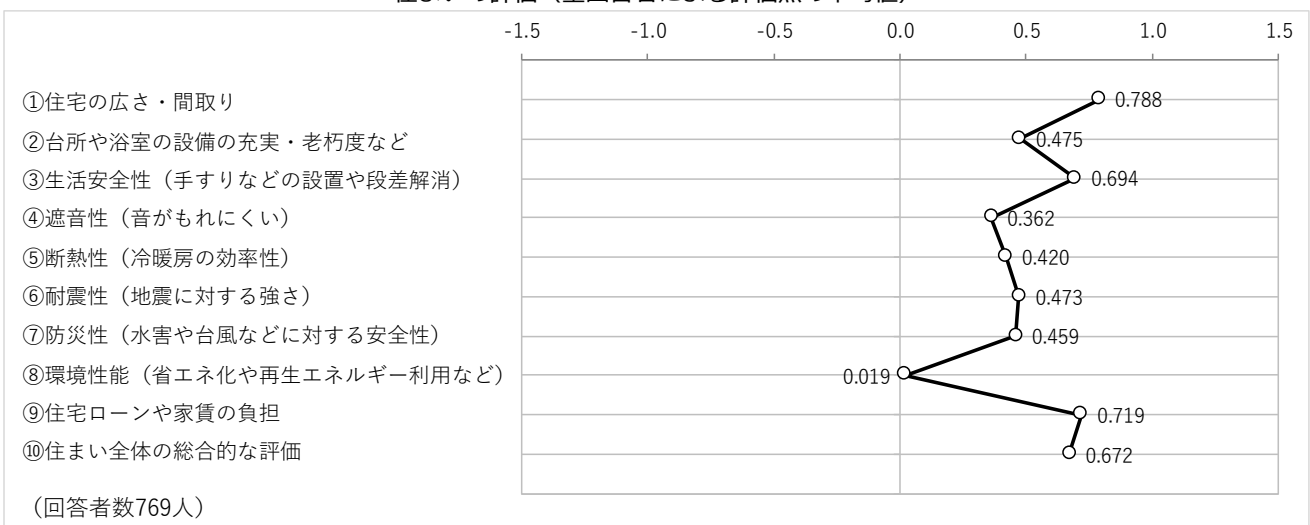
住まいに対する満足度については、「住宅の広さ・間取り」（評価点の平均値 0.788）、「住宅ローンや家賃の負担」（0.719）、「生活安全性（手すりなどの設置や段差解消）」（0.694）に対する満足度が高い一方で、「環境性能（省エネ化や再生エネルギー利用など）」（0.019）に対する満足度が低くなっています。

これを属性別にみると、子育て世帯では「生活安全性（手すりなどの設置や段差解消）」（1.070）、高齢者のみ世帯では「住宅ローンや家賃の負担」（1.116）、「住宅の広さ・間取り」（0.980）の満足度が高くなっています。また、民間賃貸住宅に居住する世帯では、他の属性に比べて満足度評価は相対的に低く、なかでも「環境性能（省エネ化や再生エネルギー利用など）」（-0.176）、「遮音性（音がもれにくい）」（-0.159）の満足度の低さが目立っています。

住まいの評価（全回答者による回答の内訳）

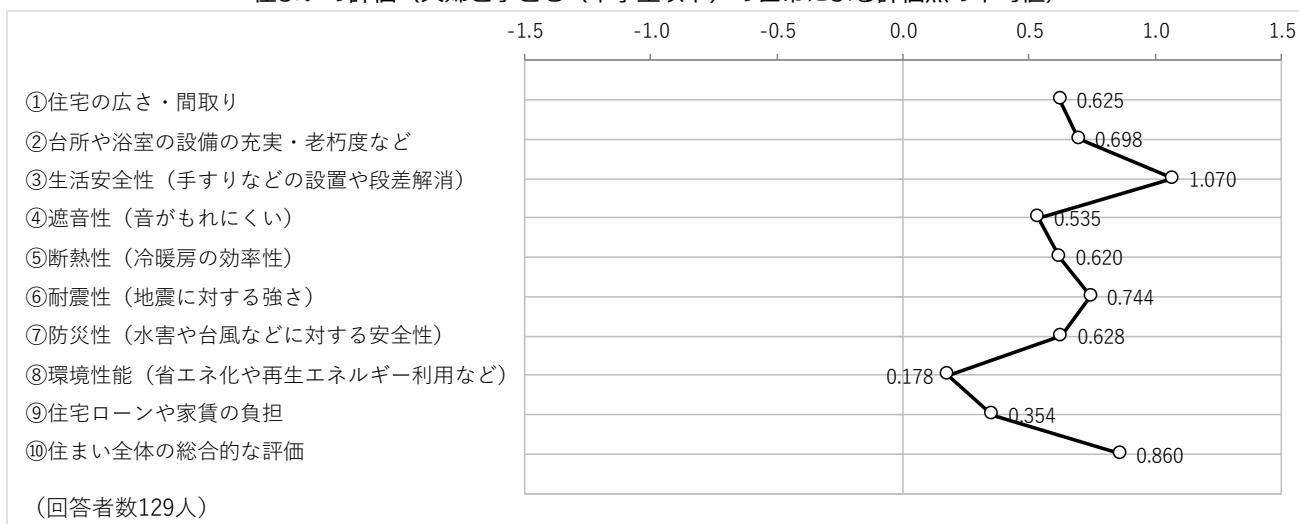


住まいの評価（全回答者による評価点の平均値）



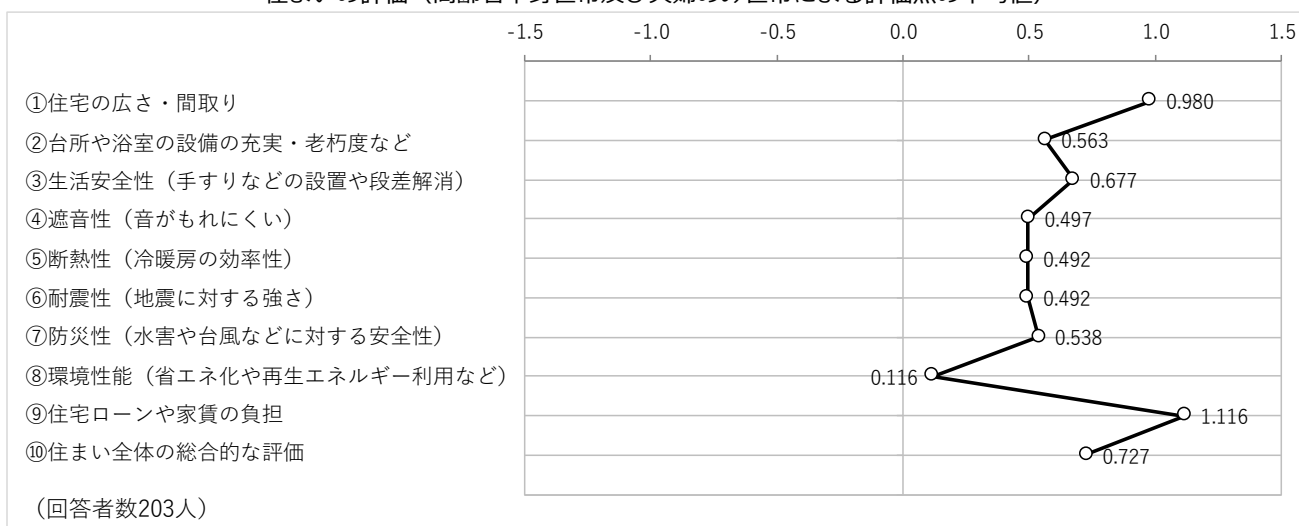
※項目毎に「満足」は+2点、「やや満足」は+1点、「やや不満」は-1点、「不満」は-2点で集計

住まいの評価（夫婦と子ども（中学生以下）の世帯による評価点の平均値）



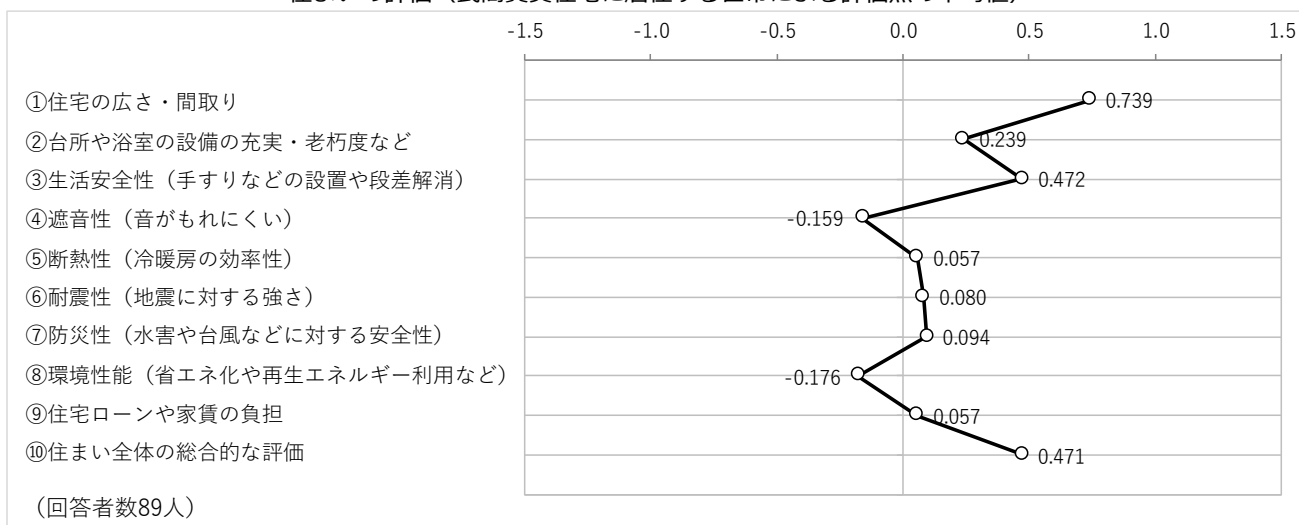
※項目毎に「満足」は+2点、「やや満足」は+1点、「やや不満」は-1点、「不満」は-2点で集計

住まいの評価（高齢者単身世帯及び夫婦のみ世帯による評価点の平均値）



※項目毎に「満足」は+2点、「やや満足」は+1点、「やや不満」は-1点、「不満」は-2点で集計

住まいの評価（民間賃貸住宅に居住する世帯による評価点の平均値）



※項目毎に「満足」は+2点、「やや満足」は+1点、「やや不満」は-1点、「不満」は-2点で集計

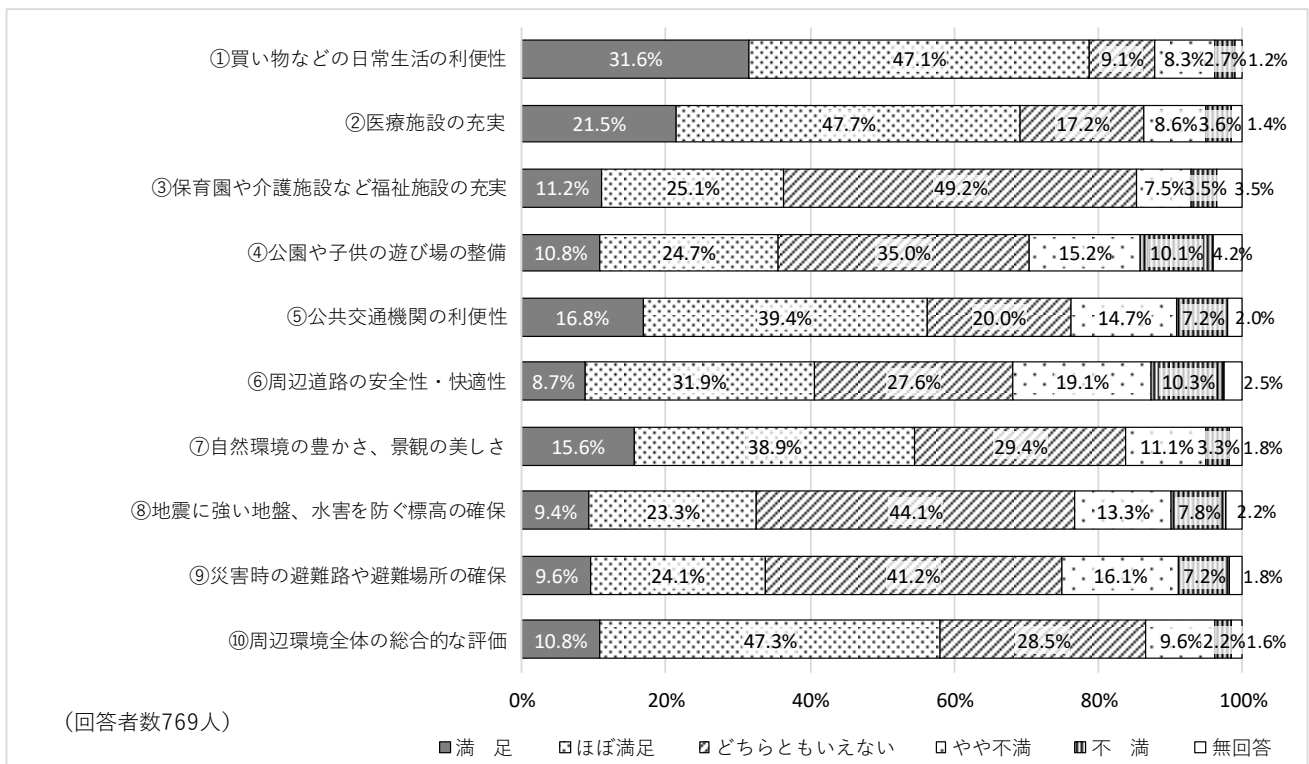


**【質問 08】** お住まいの周辺環境についてどのように評価しますか。周辺環境の評価項目（全 10 項目）それぞれについて、あなたの満足度に該当する番号を一つ選び、○を付けてください。

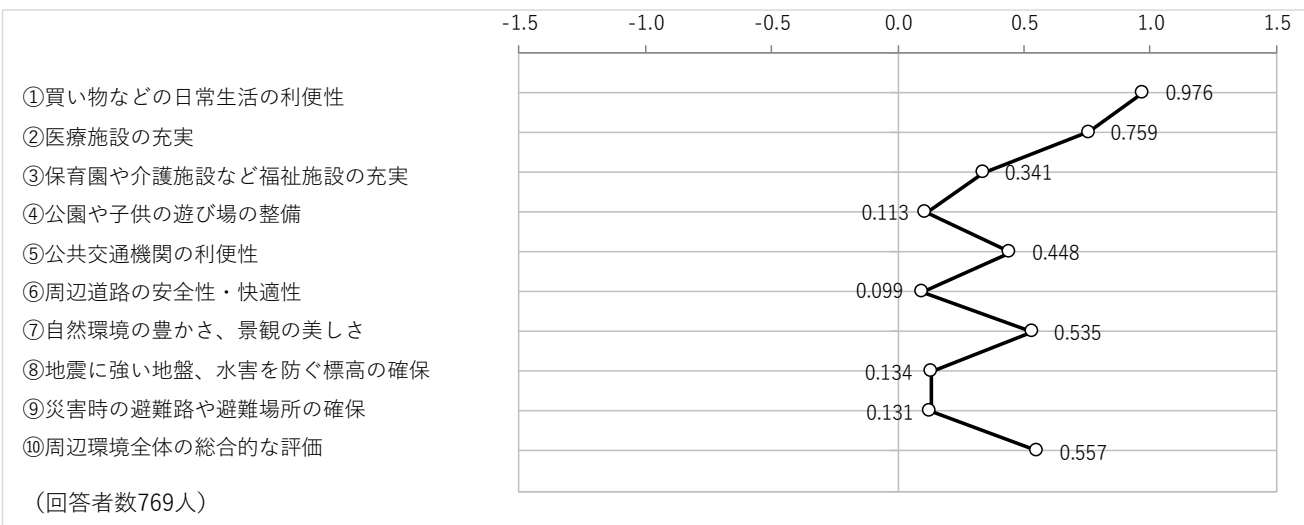
周辺環境に対する満足度については、「買い物などの日常生活の利便性」（評価点の平均値 0.976）、「医療施設の充実」（0.759）に対する満足度が高い一方で、「周辺道路の安全性・快適性」（0.099）、「公園や子供の遊び場の整備」（0.113）、「災害時の避難路や避難場所の確保」（0.131）、「地震に強い地盤、水害を防ぐ標高の確保」（0.134）に対する満足度が低くなっています。

これを属性別にみると、子育て世帯、高齢者のみ世帯、民間賃貸住宅に居住する世帯でおおむね同様の傾向にありますが、子育て世帯では「周辺道路の安全性・快適性」（-0.031）、民間賃貸住宅に居住する世帯では「地震に強い地盤、水害を防ぐ標高の確保」（0.000）の満足度が最も低くなっています。

周辺環境の評価（全回答者による回答の内訳）

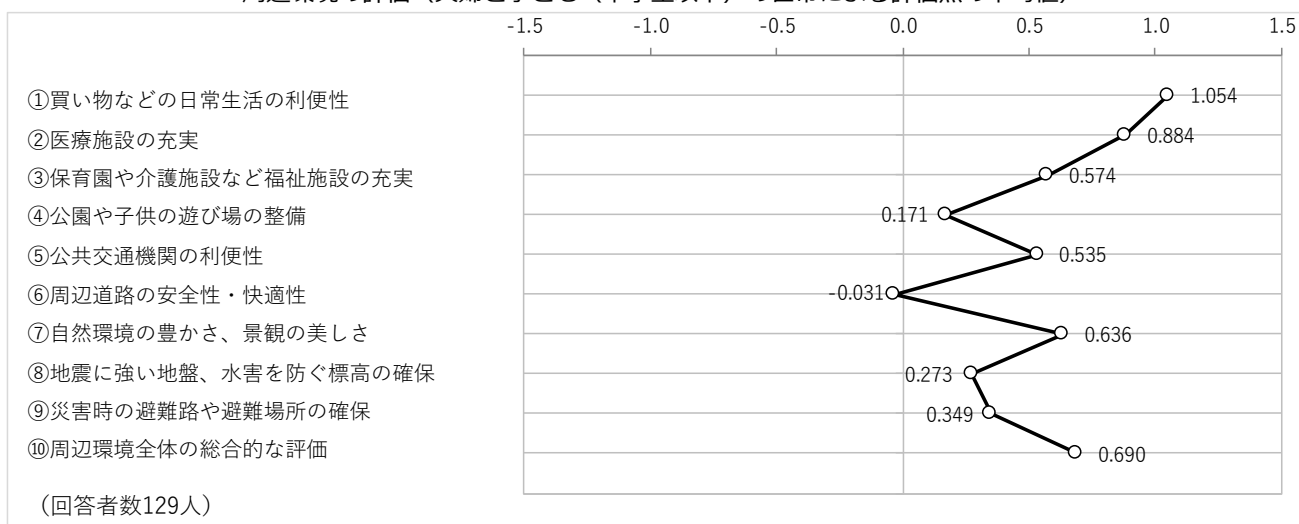


周辺環境の評価（全回答者による評価点の平均値）



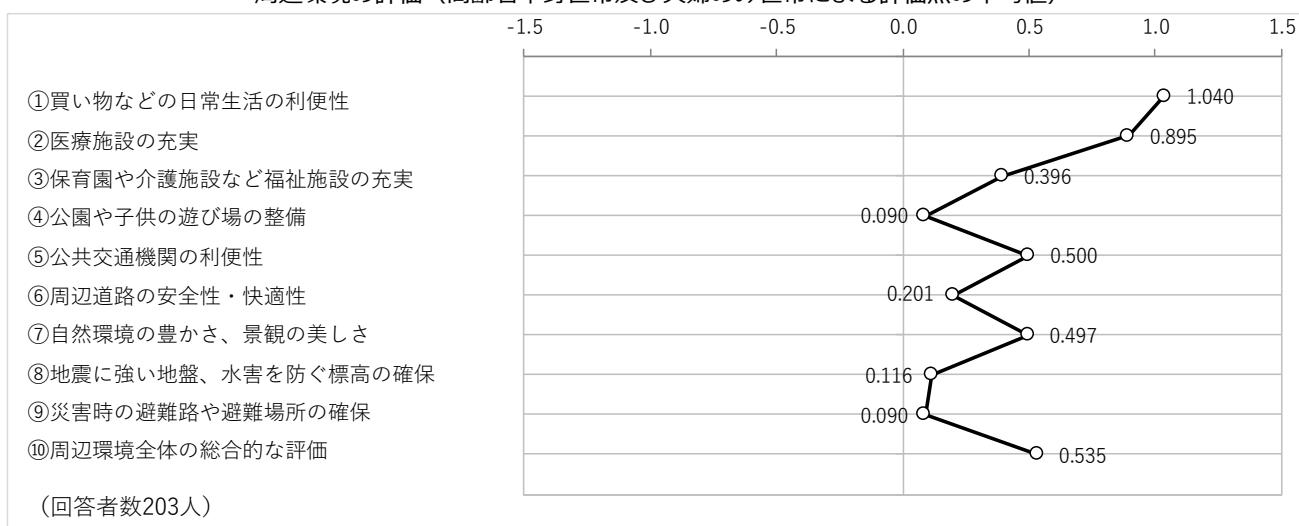
※項目毎に「満足」は+2点、「やや満足」は+1点、「やや不満」は-1点、「不満」は-2点で集計

周辺環境の評価（夫婦と子ども（中学生以下）の世帯による評価点の平均値）



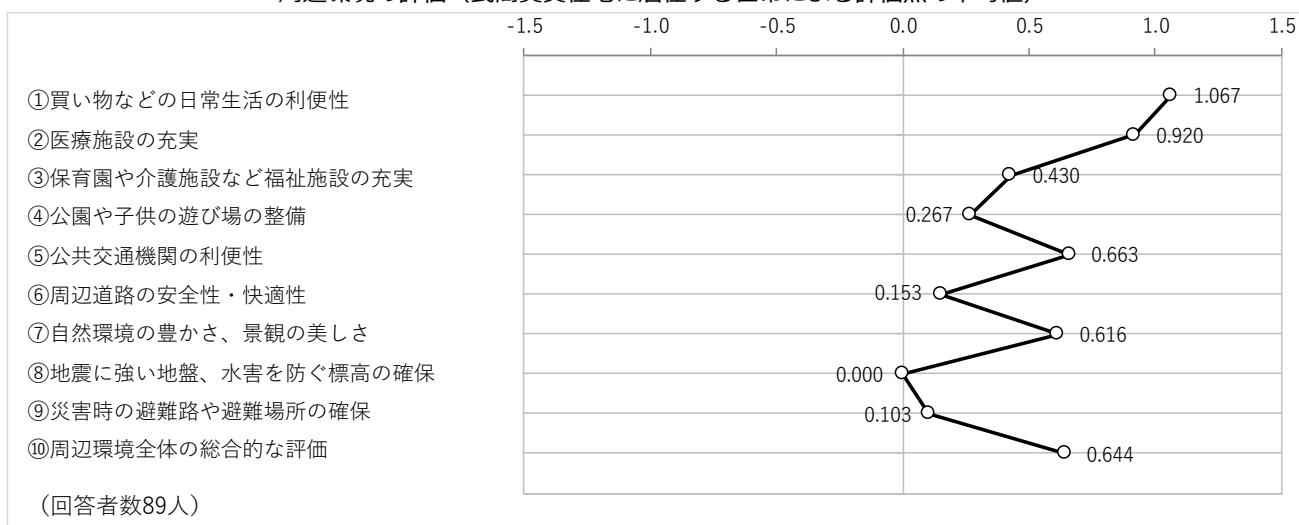
※項目毎に「満足」は+2点、「やや満足」は+1点、「やや不満」は-1点、「不満」は-2点で集計

周辺環境の評価（高齢者単身世帯及び夫婦のみ世帯による評価点の平均値）



※項目毎に「満足」は+2点、「やや満足」は+1点、「やや不満」は-1点、「不満」は-2点で集計

周辺環境の評価（民間賃貸住宅に居住する世帯による評価点の平均値）



※項目毎に「満足」は+2点、「やや満足」は+1点、「やや不満」は-1点、「不満」は-2点で集計

### (3) ライフステージの変化への対応

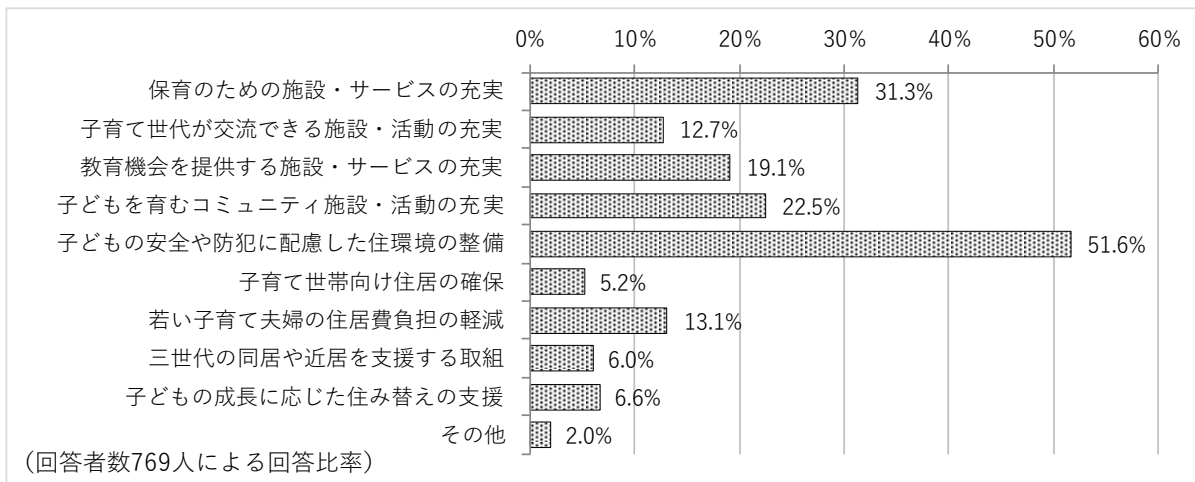
【質問 09】 子育て期において（成長する子どもや子育てする親として）、住まいや周辺環境の条件として何を重視しますか。該当する番号を二つ以内で選び、○を付けてください。（※子育て期に当てはまらない方も、ご意見としてお答えください。）

子育て期における住まいや周辺環境の条件として、回答者の51.6%が「子どもの安全や防犯に配慮した住環境の整備」、31.3%が「保育のための施設・サービスの充実」を挙げています。

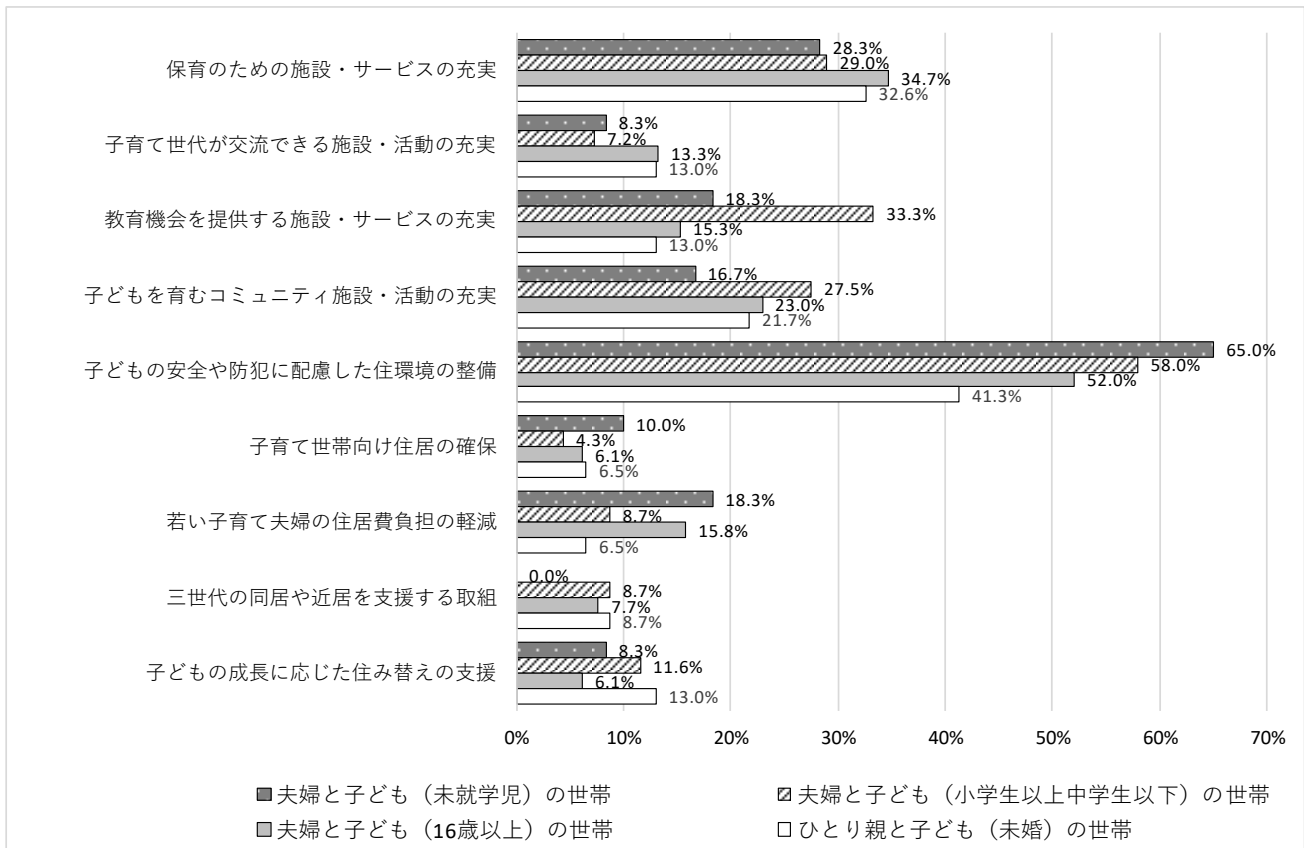
子育て世帯の区分別にみると、「夫婦と子ども(未就学児)の世帯」の多くが「子どもの安全や防犯に配慮した住環境の整備」(65.0%)を挙げています。

その他の条件で顕著なものとして、「夫婦と子ども(小学生以上中学生以下)の世帯」の多くが「教育機会を提供する施設・サービスの充実」(33.3%)を挙げています。

子育て期における住まいや周辺環境の条件（全回答者）



子育て期における住まいや周辺環境の条件（子育て世帯の区分別）



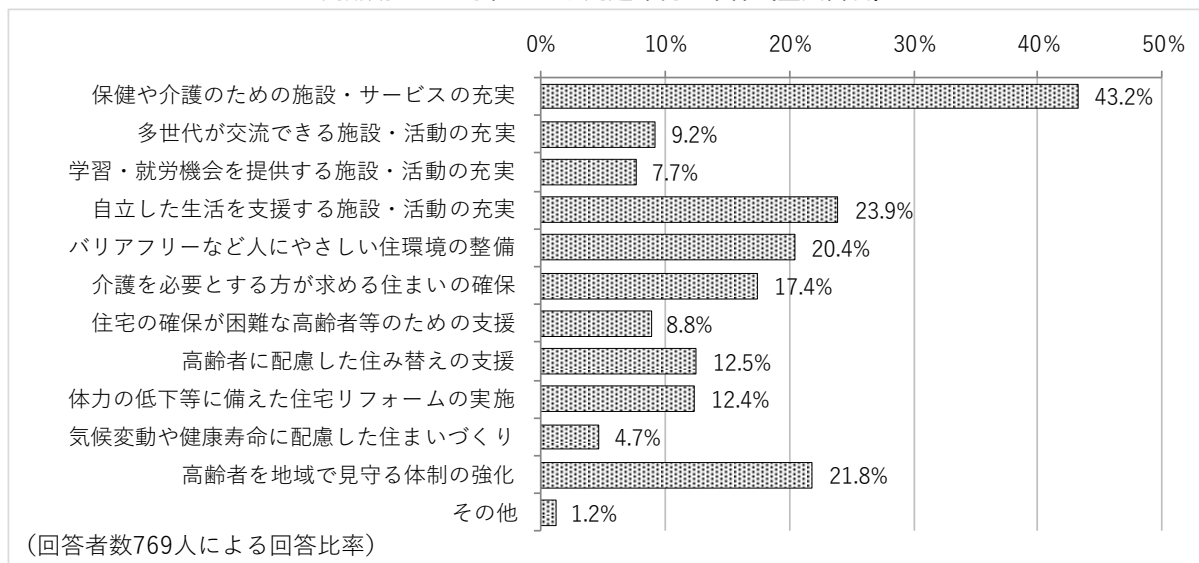
【質問 10】 高齢期において（お年寄りやそのご家族として）、住まいや周辺環境の条件として何を重視しますか。該当する番号を二つ以内で選び、○を付けてください。（※高齢期に当てはまらない方も、ご意見としてお答えください。）

高齢期における住まいや周辺環境の条件として、回答者の 43.2%が「保健や介護のための施設・サービスの充実」、23.9%が「自立した生活を支援する施設・活動の充実」、21.8%が「高齢者を地域で見守る体制の強化」を挙げています。

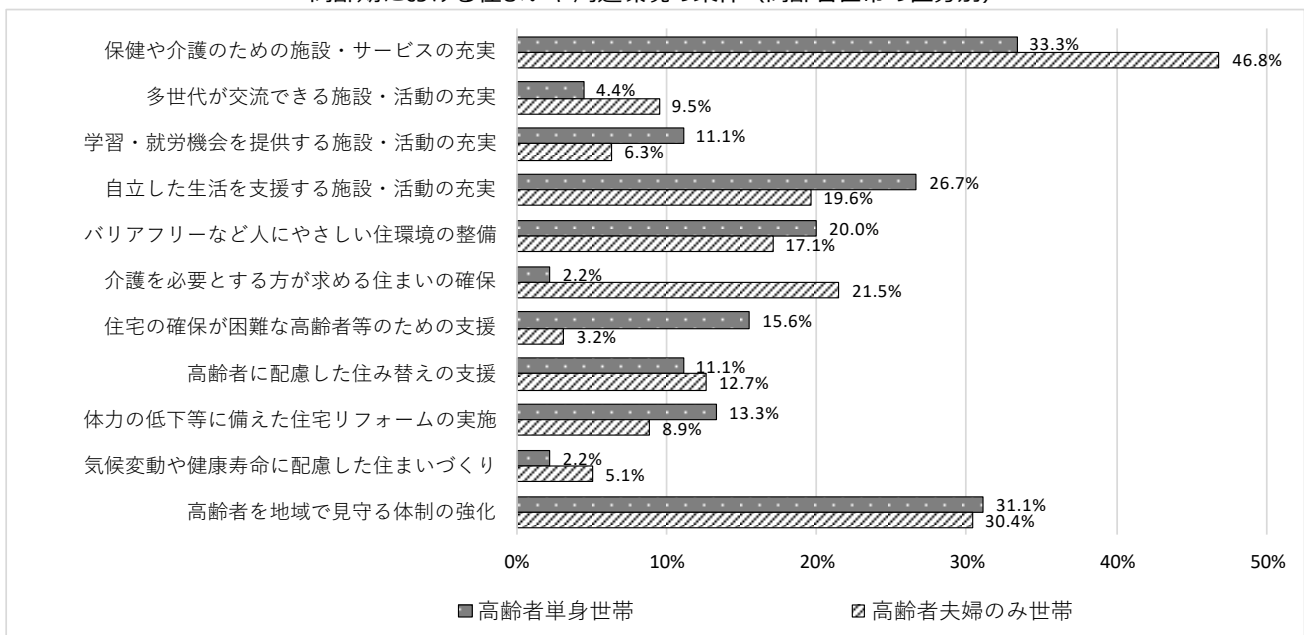
高齢者世帯の区分別にみると、「高齢者夫婦のみ世帯」の多くが「保健や介護のための施設・サービスの充実」(46.8%)を、また、「高齢者単身世帯」の多くが「自立した生活を支援する施設・活動の充実」(26.7%)が挙げています。

その他の条件で顕著なものとして、「高齢者単身世帯」の多くが「介護を必要とする方が求める住まいの確保」(21.5%)を挙げています。

高齢期における住まいや周辺環境の条件（全回答者）



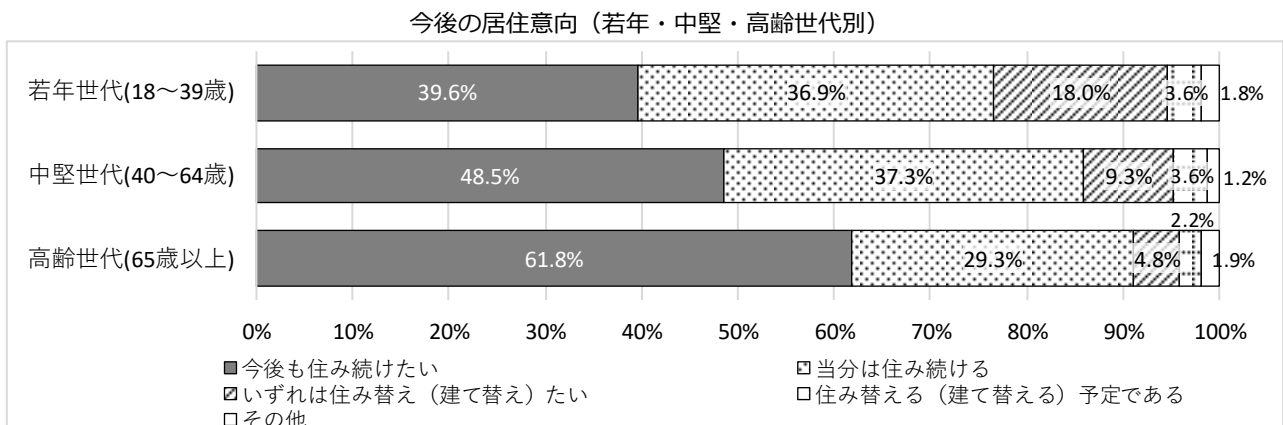
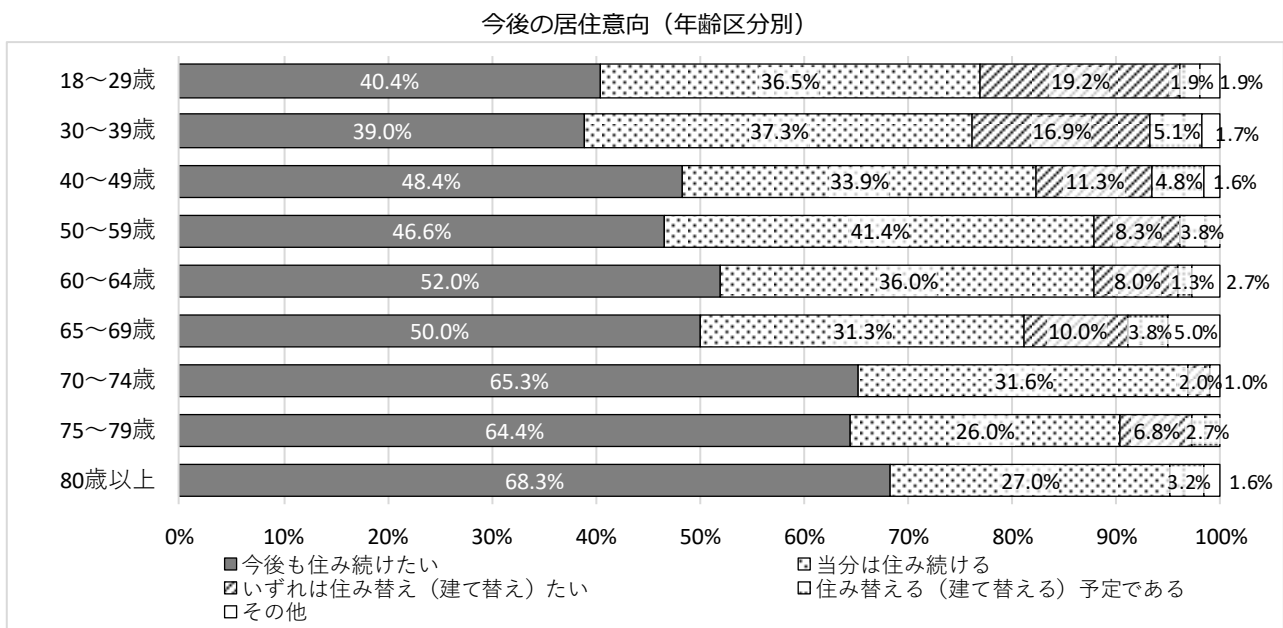
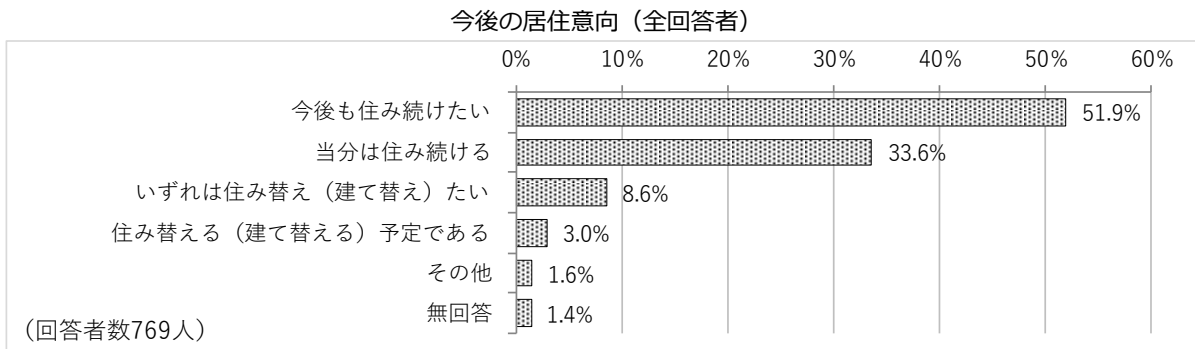
高齢期における住まいや周辺環境の条件（高齢者世帯の区分別）



【質問 11】 これからも今のお住まいに住み続けたいと思いますか。該当する番号を一つ選び、○を付けてください。

今後の居留意向としては、「今後も住み続けたい」が51.9%と最も多く、次いで「当分は住み続ける」の33.6%となっています。「いずれは住み替え（建て替え）たい」と「住み替える（建て替える）予定である」をあわせて、11.6%の方が住み替えの意向です。

今後の居留意向を年齢区別にみると、「18～39歳」の若年世代の21.6%が住み替え・建て替えの意向です（「いずれは住み替え（建て替え）たい」と「住み替える（建て替える）予定である」）。一方、「65歳以上」の高齢世代の91.1%が住み続ける意向です（「今後も住み続けたい」と「当分は住み続ける」）。



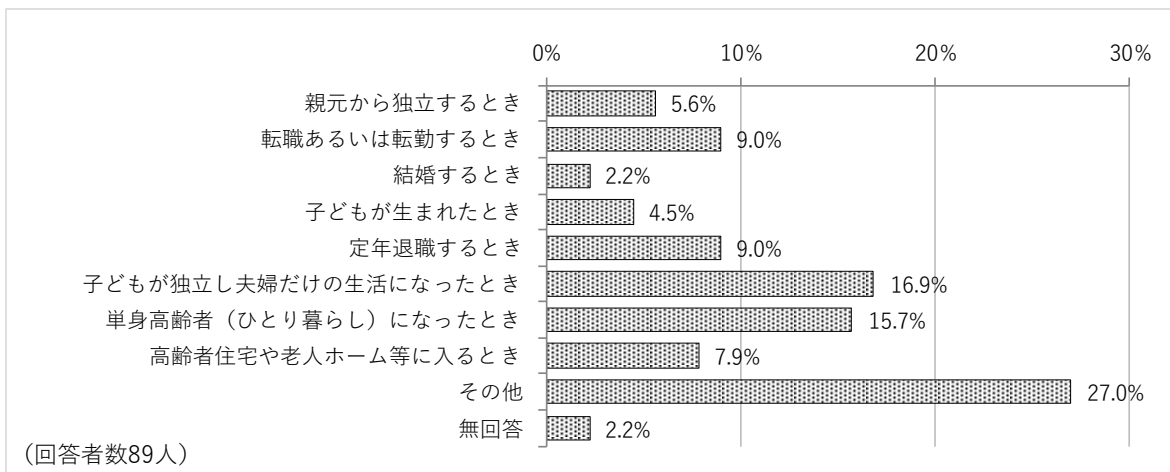
【質問 12】 【質問 11】 で「3. いずれは住み替え（建て替え）たい」「4. 住み替える（建て替える）予定である」とお答えの方におたずねします。住み替え（建て替え）の時期として、どのようなタイミングを考えていますか。該当する番号を一つ選び、○を付けてください。

住み替え・建て替えのタイミングとしては、「子どもが独立し夫婦だけの生活になったとき」が16.9%、「単身高齢者（ひとり暮らし）になったとき」が15.7%となっています。

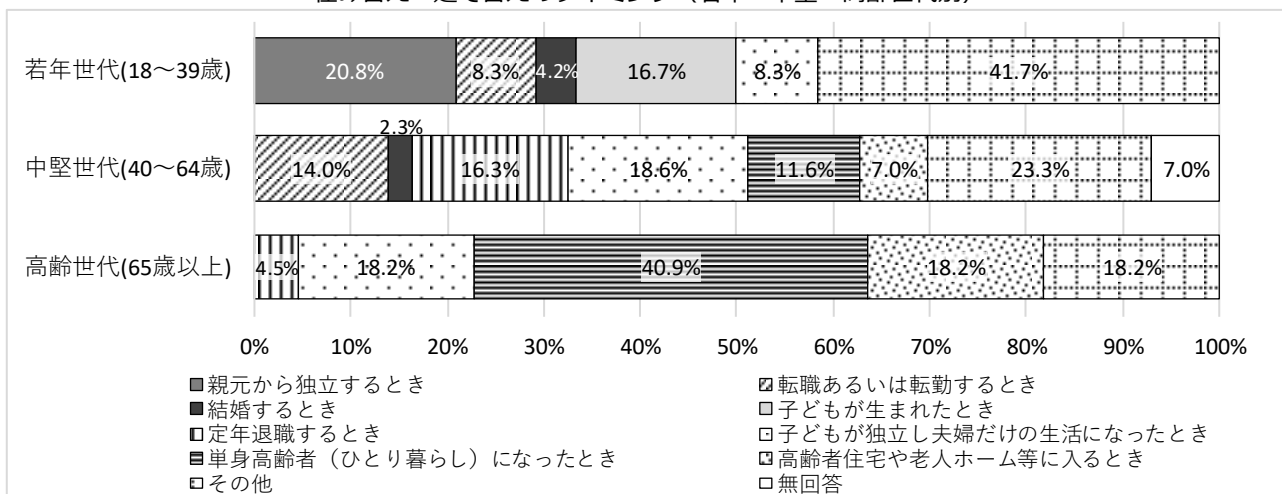
住み替え・建て替えのタイミングとして「その他」との回答が27.0%と最も多くなっていますが、その内容（自由記入による）をみると、「子どもが進学するとき」、「資金ができたとき」、「離婚するとき」など個別的な意見が挙がっています。

住み替え・建て替えのタイミングを世代別の傾向をみると、若年世代(18～39歳)では「親元から独立するとき」(20.8%)あるいは「子どもが生まれたとき」(16.7%)、中堅世代(40～64歳)では「子どもが独立し夫婦だけの生活になったとき」(18.6%)、「定年退職するとき」(16.3%)、高齢世代(65歳以上)では「単身高齢者（ひとり暮らし）になったとき」(40.9%)が住み替え・建て替えの主要な動機と考えられます。

住み替え・建て替えのタイミング



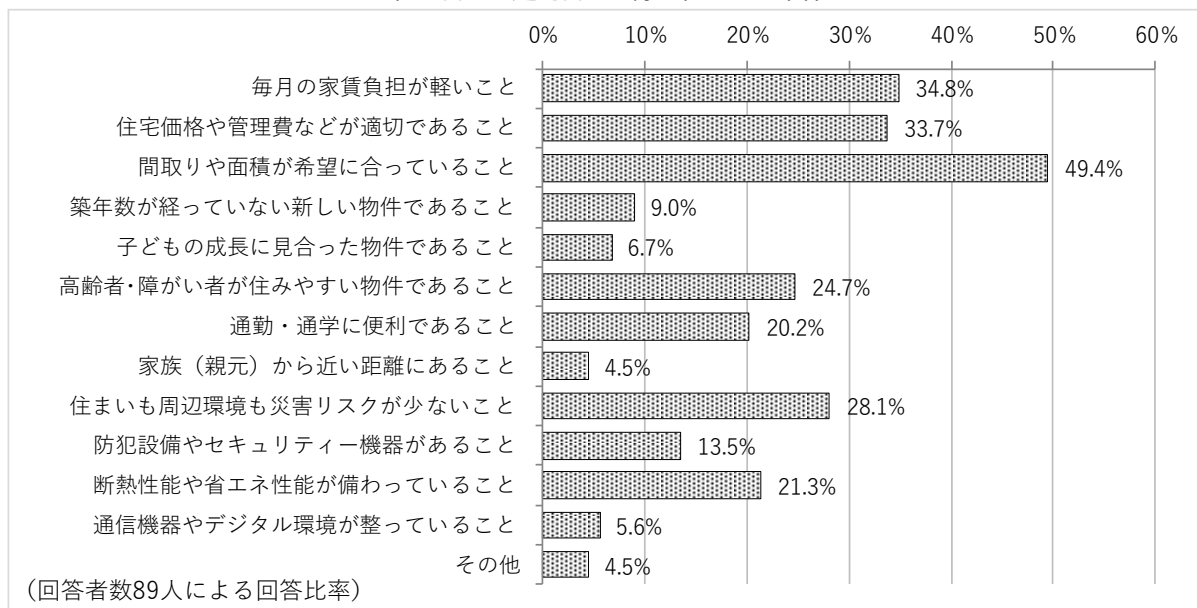
住み替え・建て替えのタイミング（若年・中堅・高齢世代別）



【質問 13】 【質問 11】で「3. いずれは住み替え（建て替え）たい」「4. 住み替える（建て替える）予定である」とお答えの方におたずねします。住み替え（建て替え）の際に、住まいを選ぶ（建てる）条件として何を重視しますか。該当する番号を三つ以内で選び、○を付けてください。

住み替え・建て替えの際に重視する条件として、回答者の49.4%が「間取りや面積が希望に合っていること」、34.8%が「毎月の家賃負担が軽いこと」、33.7%が「住宅価格や管理費などが適切であること」を挙げています。

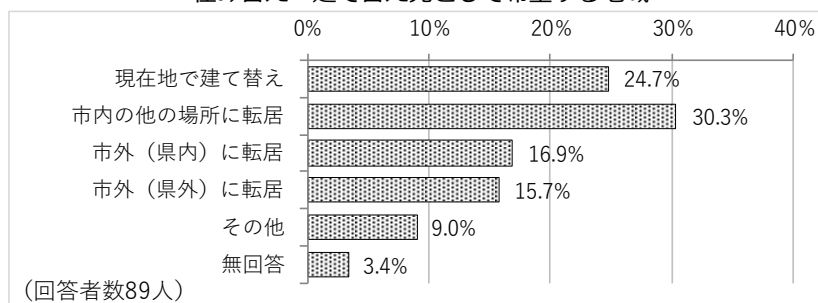
住み替え・建て替えの際の住まいの条件



【質問 14】 【質問 11】で「3. いずれは住み替え（建て替え）たい」「4. 住み替える（建て替える）予定である」とお答えの方におたずねします。住み替え（建て替え）先は、どちらの地域を希望しますか。該当する番号を一つ選び、○を付けてください。

住み替え・建て替え先として希望する地域は、「市内の他の場所に転居」が30.3%と最も多く、次いで「現在地で建て替え」が24.7%となっています。一方、「市外(県内)に転居」と「市外(県外)に転居」をあわせて、市外への転居を希望する方も32.6%みられます。

住み替え・建て替え先として希望する地域



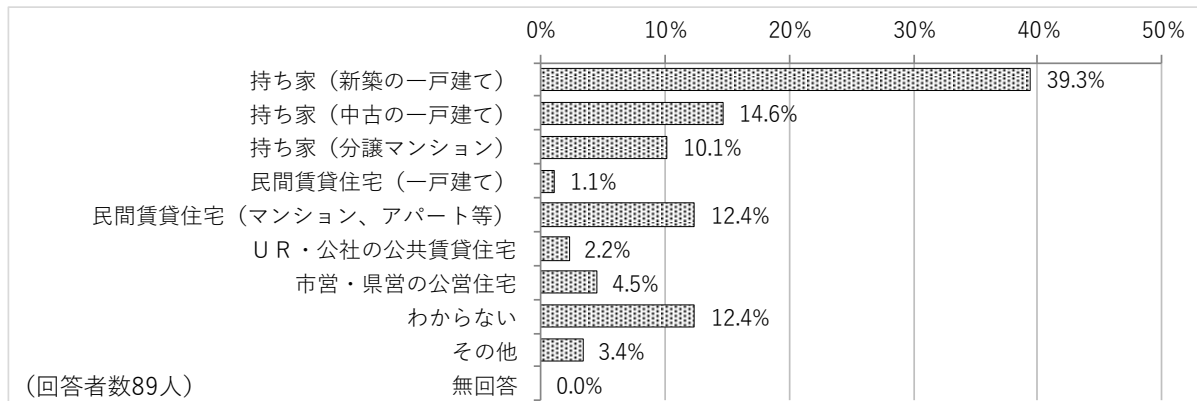
【質問 15】 【質問 11】で「3. いずれは住み替え（建て替え）たい」「4. 住み替える（建て替える）予定である」とお答えの方におたずねします。住み替え（建て替え）先では、どのような住宅の種類を希望しますか。該当する番号を一つ選び、○を付けてください。

住み替え・建て替え先として希望する住宅の種類は、「持ち家(新築の一戸建て)」が39.3%と最も多く、次いで「持ち家(中古の一戸建て)」(14.6%)、「民間賃貸住宅(マンション、アパート等)」(12.4%)、「持ち家(分譲マンション)」(10.1%)の順となっています。新築一戸建てに比べると、中古一戸建てへの住み替え希望は少ない状況にあります。

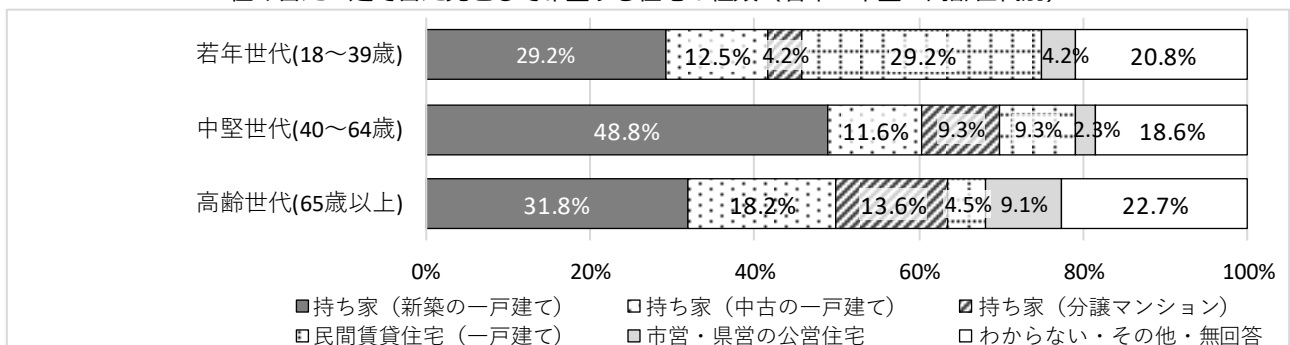
住み替え・建て替え先として希望する住宅の種類について、世代別にみると、若年世代(18～39歳)の方は、おおむね「持ち家(新築の一戸建て)」(29.2%)もしくは「民間賃貸住宅」(29.2%)を希望する傾向にあります。中堅世代(40～64歳)の方は、「持ち家(新築の一戸建て)」(48.8%)への住み替えを希望する傾向にあります。高齢世代(65歳以上)で希望する住宅の種類は多様ですが、約1割(9.1%)の方が「市営・県営の公営住宅」を希望している点が他の世代に比べて目立っています。

住み替え・建て替え先として希望する住宅の種類について、現在居住する住宅の種類別にみると、「持ち家(一戸建て)」にお住まいの方は、同じ「持ち家(新築の一戸建て)」(46.8%)への住み替え・建て替えを希望する傾向にあります。「持ち家(分譲マンション)」にお住まいの方も、「持ち家(新築の一戸建て)」(50.0%)への住み替えを希望する傾向にあります。「民間賃貸住宅」にお住まいの方は、おおむね「持ち家(新築の一戸建て)」(28.6%)もしくは「民間賃貸住宅」(25.0%)に分かれています。

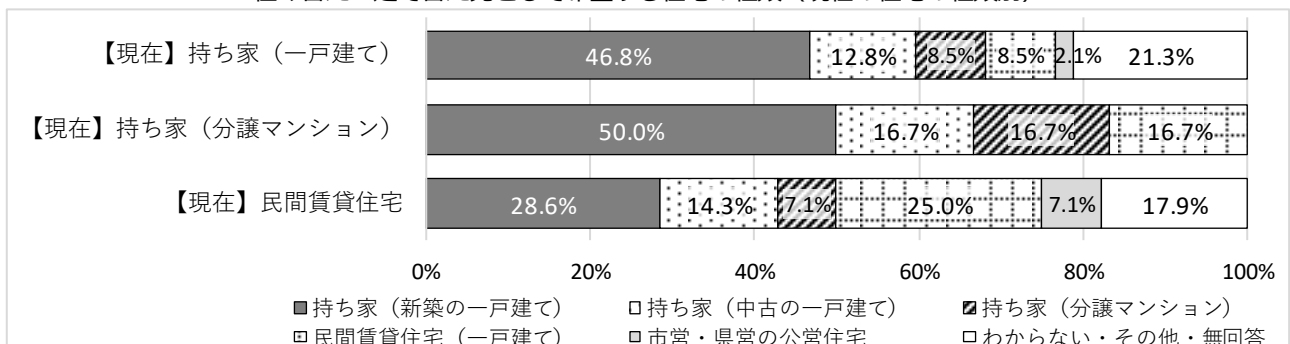
住み替え・建て替え先として希望する住宅の種類



住み替え・建て替え先として希望する住宅の種類 (若年・中堅・高齢世代別)



住み替え・建て替え先として希望する住宅の種類 (現在の住宅の種類別)





#### (4) 住まいの防災対策・環境対策

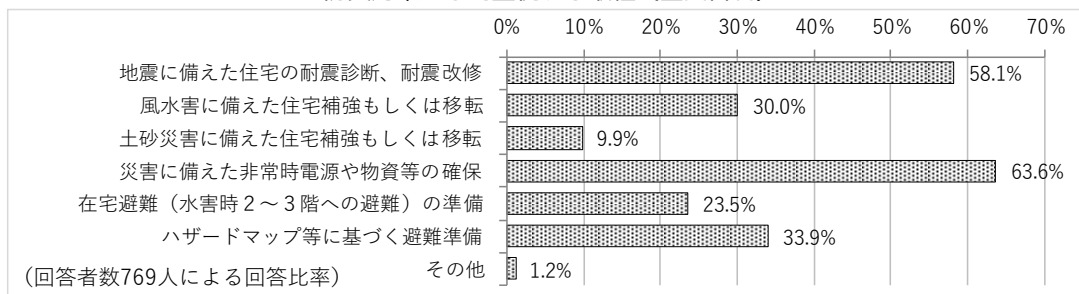
【質問 16】 住まいの防災対策として、重視する取組（住み替えや建て替え時等に検討したい取組）はありますか。該当する全ての番号を選んで、○を付けてください。（いくつ選んでも結構です。）

住まいの防災対策で重視する取組としては、回答者の 63.6%が「災害に備えた非常時電源や物資等の確保」、58.1%が「地震に備えた住宅の耐震診断、耐震改修」を挙げています。これらを重視する意識は「東部地域」と「北部地域」で強く表れています。

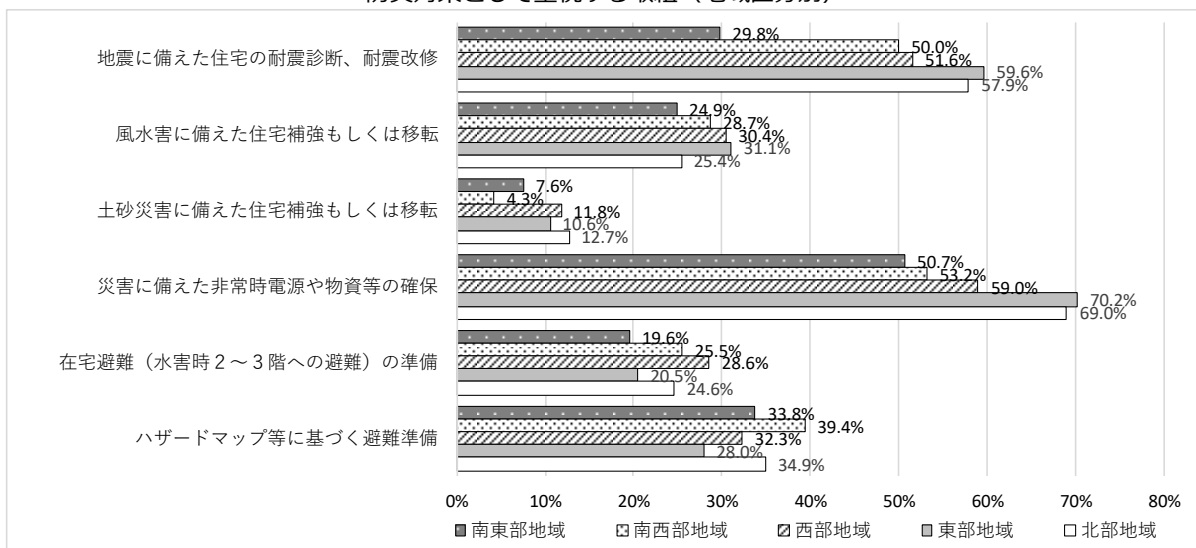
地域区別に顕著な点を挙げると、「南西部地域」で「ハザードマップ等に基づく避難準備」(39.4%)、「西部地域」で「在宅避難（水害時2～3階への避難）の準備」(28.6%)を重視する傾向が他の地域よりもやや強くなっています。

住宅の種類別にみると、「持ち家(分譲マンション)」で「地震に備えた住宅の耐震診断、耐震改修」(67.0%)、「民間賃貸住宅」で「ハザードマップ等に基づく避難準備」(40.4%)、「風水害に備えた住宅補強もしくは移転」(37.1%)を重視する傾向が他の住宅種類よりもやや強くなっています。

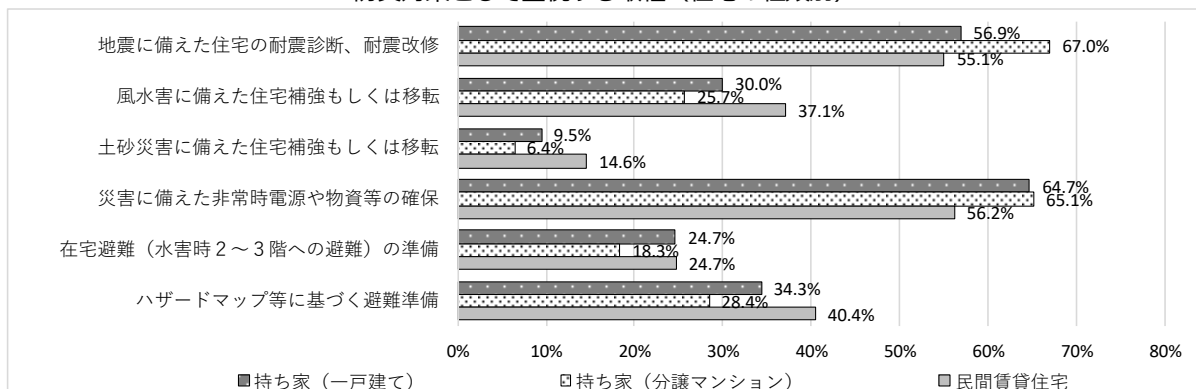
防災対策として重視する取組（全回答者）



防災対策として重視する取組（地域区分別）



防災対策として重視する取組（住宅の種類別）



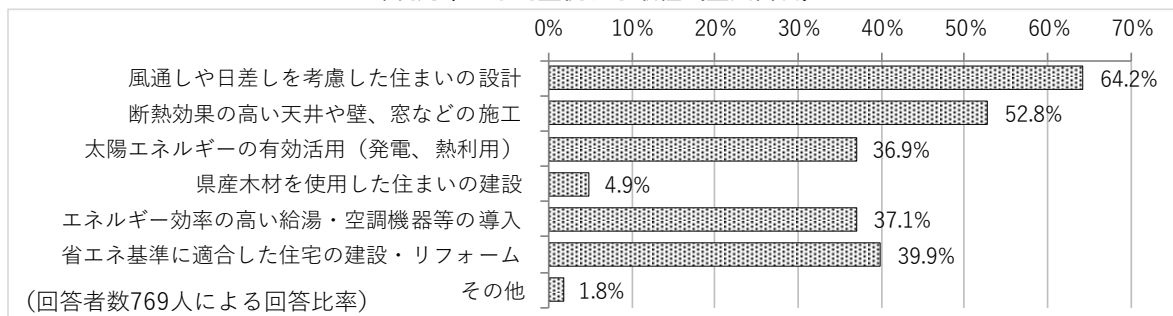
【質問 17】 住まいの環境対策として、重視する取組（住み替えや建て替え時に検討したい取組）はありますか。該当する全ての番号を選んで、○を付けてください。（いくつ選んでも結構です。）

住まいの環境対策で重視する取組としては、回答者の 64.2%が「風通しや日差しを考慮した住まいの設計」、52.8%が「断熱効果の高い天井や壁、窓などの施工」を挙げています。特に「南東部地域」で「風通しや日差しを考慮した住まいの設計」を重視する意識が強く表れています。

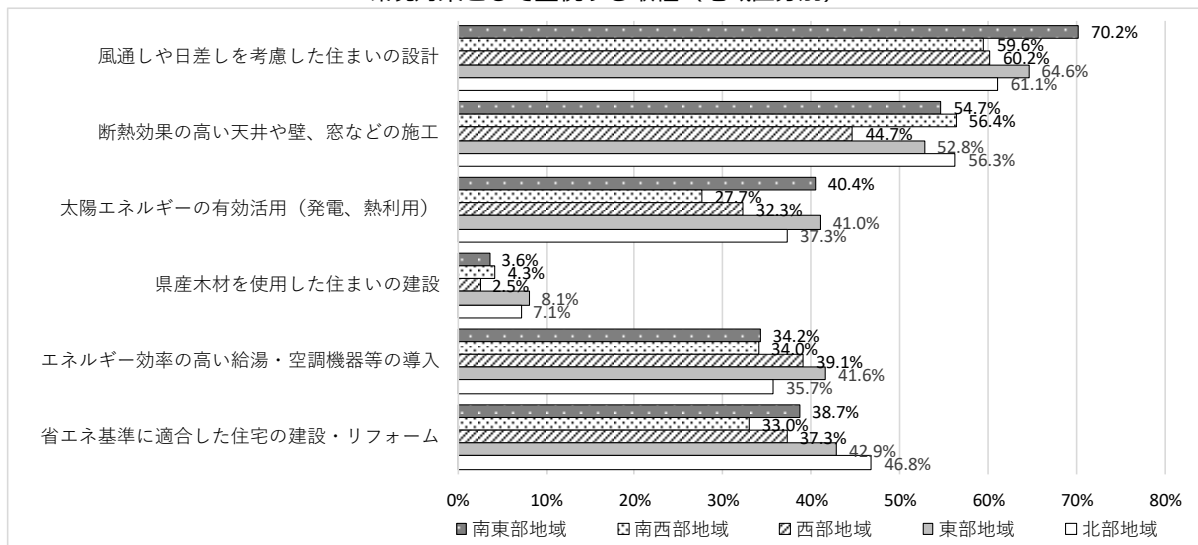
地域区別に顕著な点を挙げると、「北部地域」で「省エネ基準に適合した住宅の建設・リフォーム」（46.8%）を重視する傾向が他の地域よりもやや強くなっています。

住宅の種類別にみると、「持ち家(分譲マンション)」で「断熱効果の高い天井や壁、窓などの施工」（55.4%）、「民間賃貸住宅」で「風通しや日差しを考慮した住まいの設計」（68.5%）を重視する傾向が他の住宅種類よりもやや強くなっています。

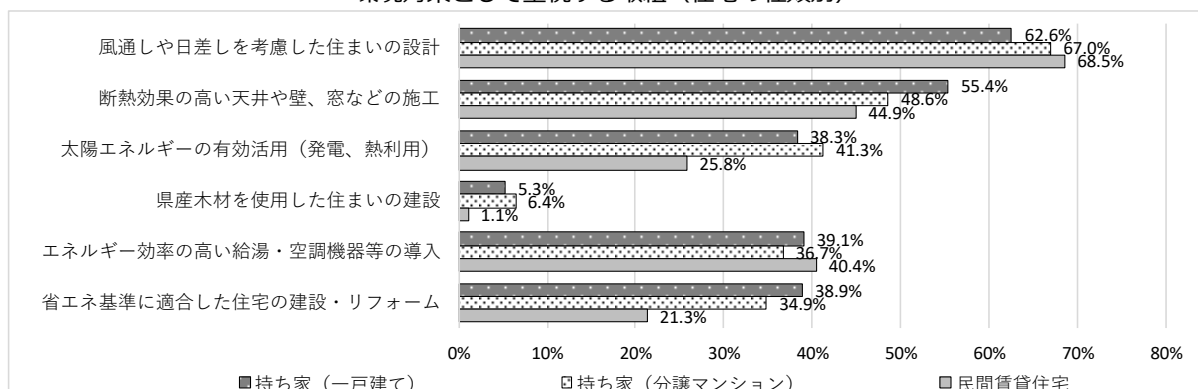
環境対策として重視する取組（全回答者）



環境対策として重視する取組（地域区別）



環境対策として重視する取組（住宅の種類別）



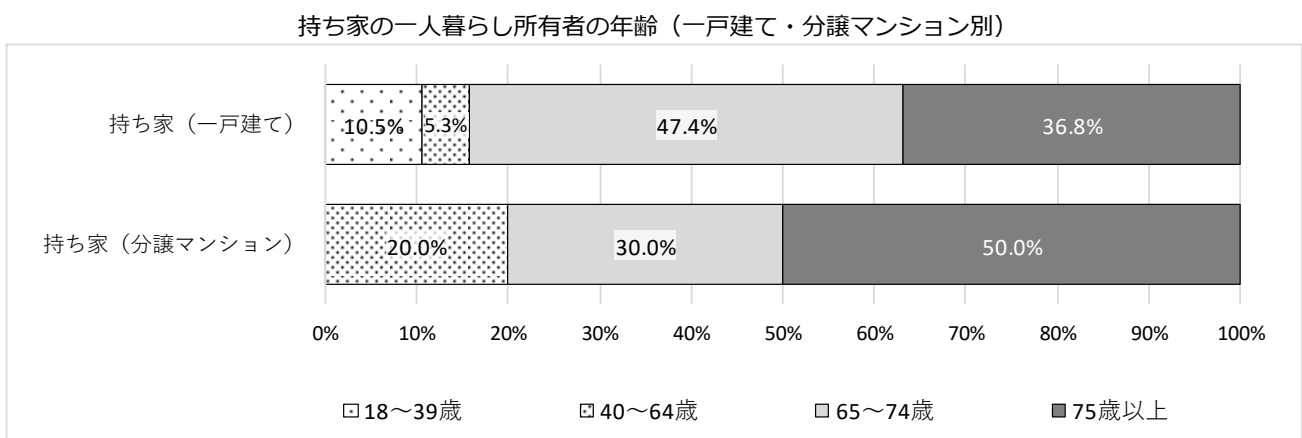
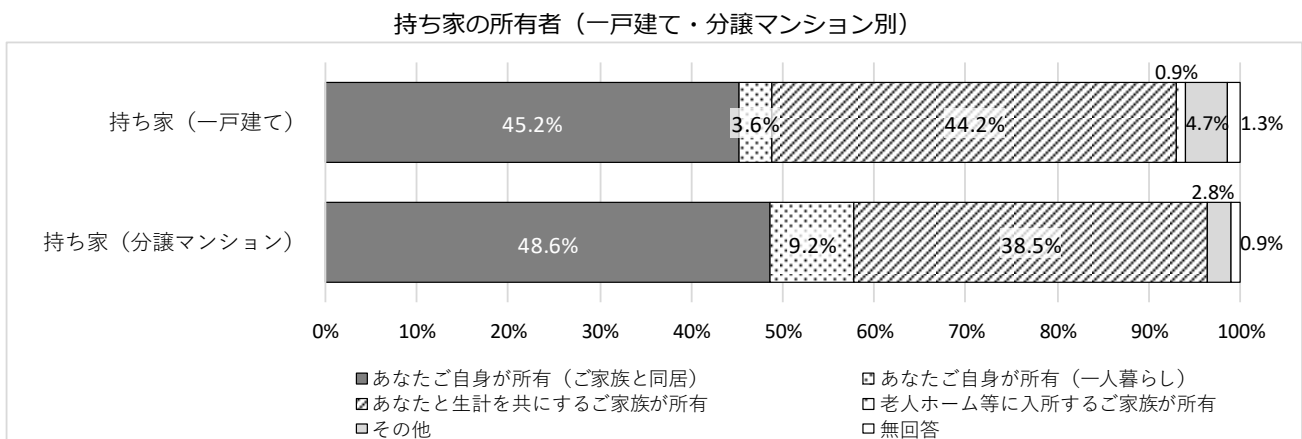
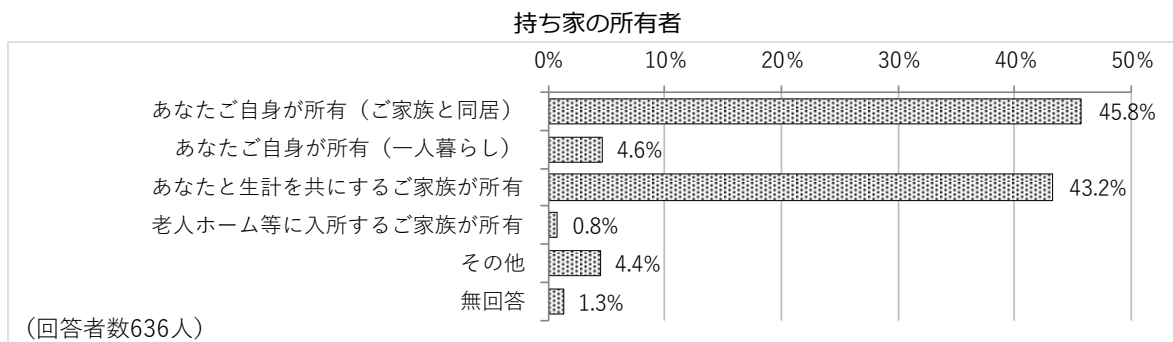
## (5) 空き家の発生予防

【質問 18】 【質問 5】で「1. 持ち家（一戸建て）」「2. 持ち家（分譲マンション）」とお答えの方におたずねします。お住まいの住宅はどなたの所有ですか。該当する番号を一つ選び、○を付けてください。

持ち家の所有関係については、「自身が所有」する住宅は50.3%で、このうち4.6%は「一人暮らし」の住宅となっています。「家族が所有」する住宅は43.2%となっています。

「自身が所有」する持ち家で「一人暮らし」の方は、「持ち家(一戸建て)」の3.6%、「持ち家(分譲マンション)」の9.2%となっています。

「自身が所有」する持ち家で「一人暮らし」の方のうち65歳以上の方は、「持ち家(一戸建て)」の84.2%、「持ち家(分譲マンション)」の80.0%となっています。

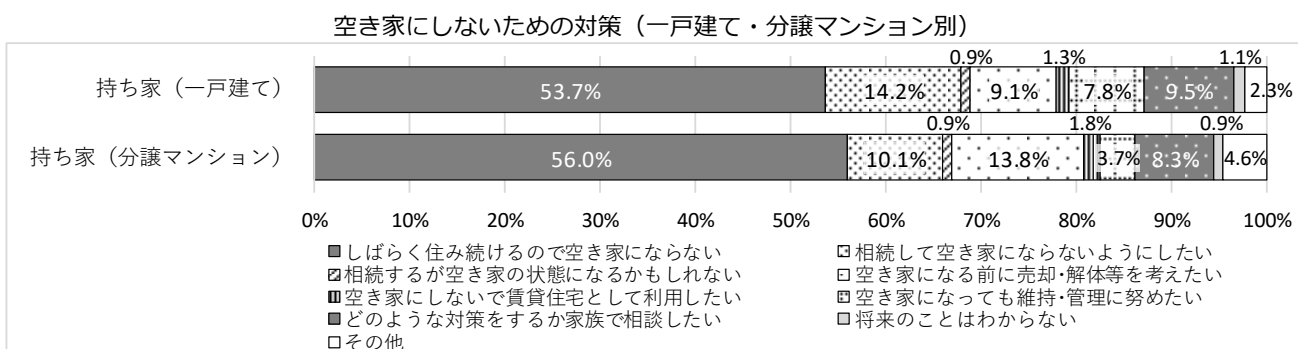
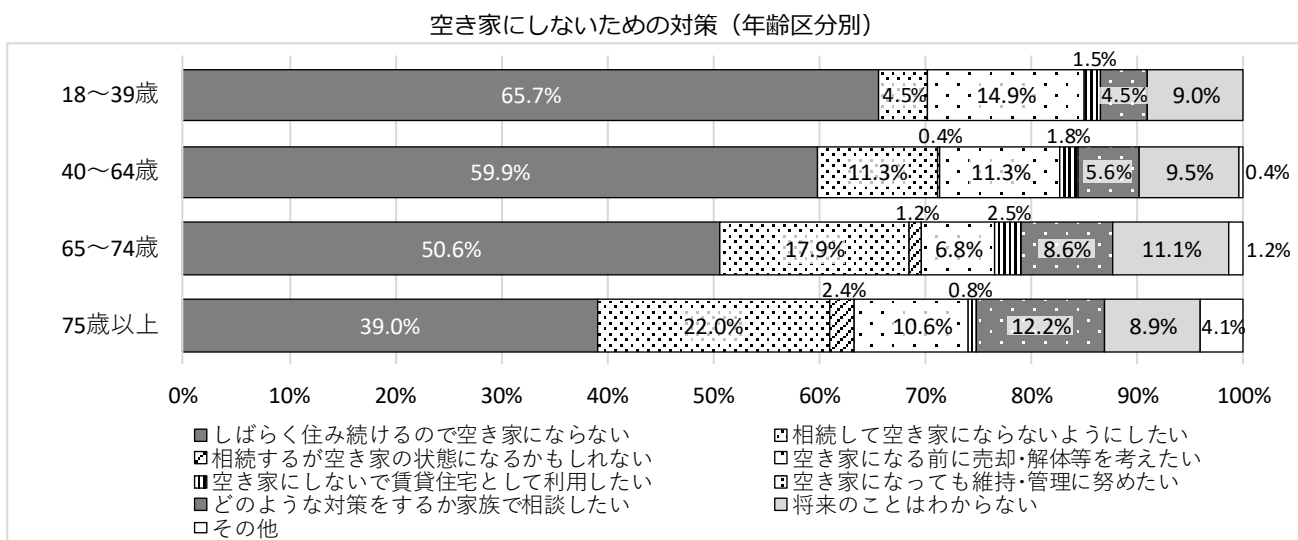
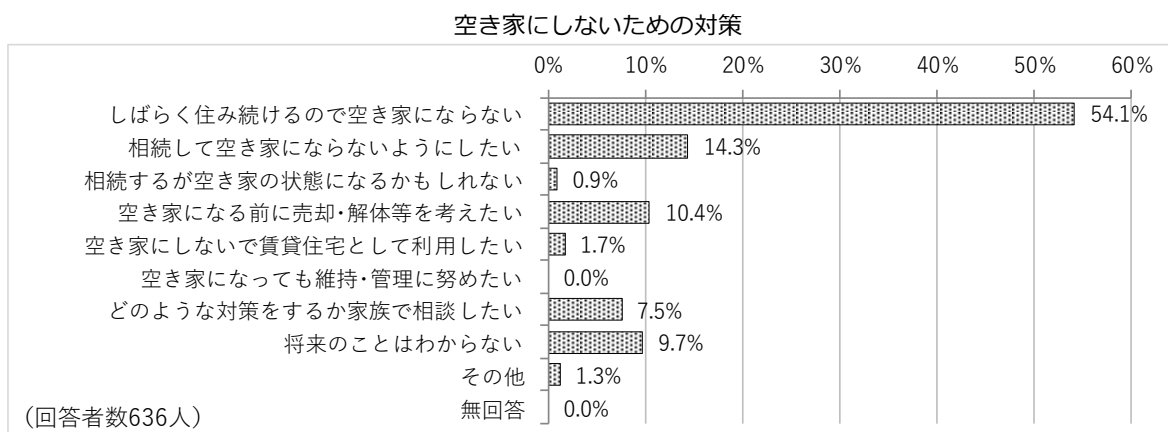


【質問19】 【質問5】で「1. 持ち家（一戸建て）」「2. 持ち家（分譲マンション）」とお答えの方におたずねします。お住まいの住宅が将来的に空き家にならないよう、何か対策をお考えですか。該当する番号を一つ選び、○を付けてください。

お住まいの住宅については、54.1%の方が「しばらく住み続けるので空き家にならない」と考えています。そのほか、住宅を空き家にしたための対策としては、「相続して空き家にならないようにしたい」方が14.3%、「空き家になる前に売却・解体等を考えたい」方が10.4%となっています。

空き家にしたための対策を年齢区分別にみると、若年世代ほど「しばらく住み続けるので空き家にならない」（18～39歳の65.7%、40～64歳の59.9%）と考える傾向にあり、高齢世代ほど「相続して空き家にならないようにしたい」（65～74歳の17.9%、75歳以上の22.0%）と考える傾向にあります。

空き家にしたための対策を一戸建てと分譲マンションで比較すると、さほど大きな差はないものの、「相続して空き家にならないようにしたい」と考えるのは「一戸建て」（14.2%）の方が多く、一方「空き家になる前に売却・解体等を考えたい」と考えるのは「分譲マンション」（13.8%）の方が多くなっています。



## (6) 住宅・住環境施策への期待

【質問 20】 今後、茅ヶ崎市が実施する住宅・住環境関係の施策（サービス）として、どのようなことに期待しますか。該当する番号を三つ以内で選び、○を付けてください。

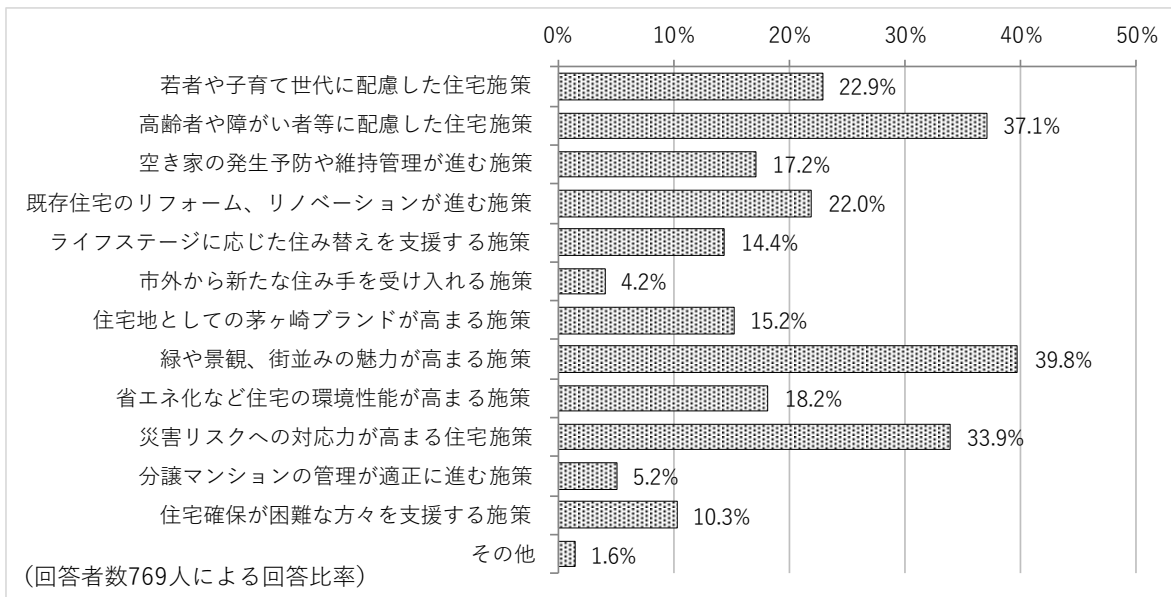
期待する住宅・住環境関係の施策としては、回答者の 39.8%が「緑や景観、街並みの魅力が高まる施策」、37.1%が「高齢者や障がい者等に配慮した住宅施策」、33.9%が「災害リスクへの対応力が高まる住宅施策」を挙げています。

年齢区別に顕著な点を挙げると、「18～39 歳」の世代で「若者や子育て世代に配慮した住宅施策」(55.4%)への期待が突出しています。また、「40～64 歳」の世代で「既存住宅のリフォーム、リノベーションが進む施策」(30.1%)への期待が大きくなっています。

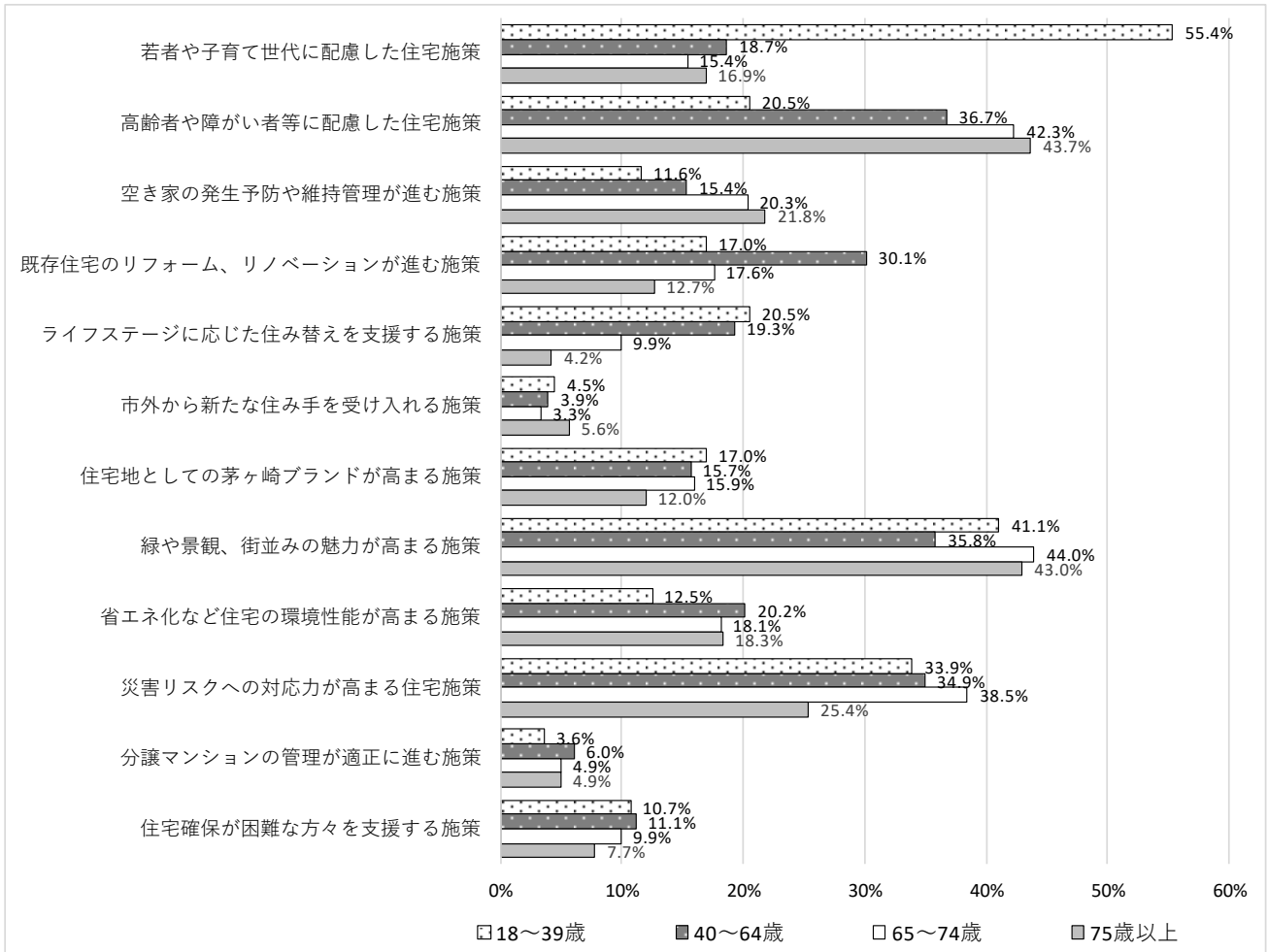
住宅の種類別にみると、「持ち家(一戸建て)」で「既存住宅のリフォーム、リノベーションが進む施策」(25.4%)への期待が大きくなっています。また、「持ち家(分譲マンション)」で「分譲マンションの管理が適正に進む施策」(25.7%)への期待が大きくなっています。一方、「民間賃貸住宅」では「若者や子育て世代に配慮した住宅施策」(37.1%)や「住宅確保が困難な方々を支援する施策」(27.0%)への期待が突出しています。

地域区別にみると、「南東部地域」で「緑や景観、街並みの魅力が高まる施策」(52.0%)への期待が突出しています。また、「北部地域」で「既存住宅のリフォーム、リノベーションが進む施策」(28.6%)への期待が他の地域よりも上回っています。

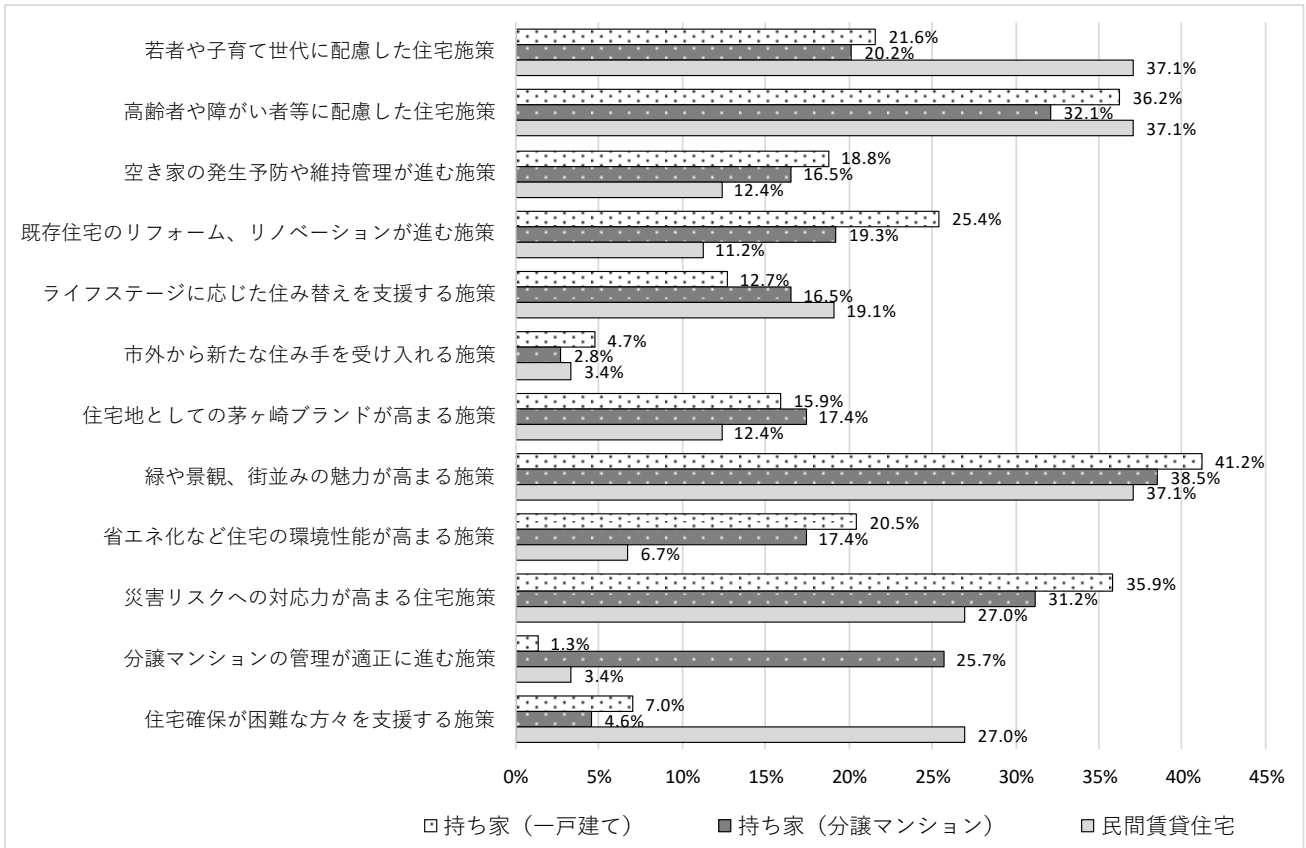
期待する住宅・住環境施策（全回答者）



期待する住宅・住環境施策（年齢区分別）



期待する住宅・住環境施策（持ち家・民間賃貸住宅別）



期待する住宅・住環境施策（地域区分別）

